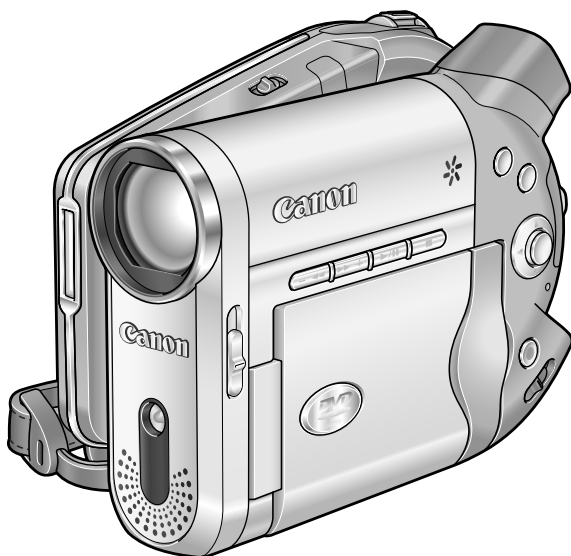
PUB. DIJ-217

Canon

DVD VIDEO CAMERA

DC20/DC10

使用説明書

Digital Video Software 使用説明書
もあわせてご覧ください。

DVDビデオカメラを楽しもう！

撮影したシーンはディスクの空いているところに記録されるので、大切な画像を誤って消してしまうことがありません
一瞬を逃さずディスクに収めます(□35)

重ね撮りの心配がありません！

撮る

見る

インデックス画面からすぐ再生！

見たいシーンをすばやく探せます
ファイナライズ[*1]すると、DVDビデオ機器でそのまま見られます（□41）

楽しむ

動画をパソコンで編集！

付属のRoxio MyDVD for Canonを使って、簡単に自分だけの動画アルバムを作れます[*2] (🕮127)

*1 ファイナライズとは、撮影し終わったDVD-R/RW（VIDEOモード）をDVDビデオ機器で見るために必要な処理のことです。

*2 Windowsのみ

ディスクを選ぼう！

DVDには12cmと8cmのディスクがあります。本機では、8cmのDVD-R（付属や市販）またはDVD-RW（市販）が使えます。

まずディスクを選ぼう！

DVD-R

一度だけ書き込めます

画像は消せません。

DVD-RW

繰り返し書き込めます

画像を消したり、初期化して撮り直せます。

記録方式はどっち？

VIDEOモード

ファイナライズするとほとんどのDVD機器で再生できます

VRモード*

撮影したシーンの編集を本機で楽しめます

再生できる機器が限られます。

- 推奨ディスク
  本機は付属のディスクおよび日立マクセル製HGタイプのディスクで動作検証しています。上記以外のディスクは動作検証をしておりませんので、互換性などのディスクに関する情報は各ディスクメーカーにお問い合わせください。
- 他機で記録、初期化やファイナライズを行ったディスクを本機で記録、再生などの操作をすると、記録データが破損する恐れがあります。
- 市販のDVD-RWを本機で使用する際は、はじめに初期化が必要です。

＊ Video Recording（ビデオ レコーディング）モードの略。VRモード対応のDVD機器で再生できます。

DC20/DC10で どんなことができるの？

**かわいい表情を
キレイに撮りたい**

美肌モードで撮る（📖71）

**暗闇の中で
明るく撮影したい**

ナイトモードで撮る（📖49）

**海外旅行の
思い出を残したい**

海外で撮る（📖175）

**本機で並べ替えなどの
編集をしたい**

VRモード（DVD-RWのみ）で
プレイリストの編集をする（📖99）

もくじ

はじめに

1 準備しよう

2 かんたん！

3 ステップアップ！

4 編集する

5 DVDプレーヤーなどで見る

6 テレビやビデオにつなぐ

7 パソコンにつなぐ

8 印刷する

9 困ったときに

10 守ってほしいこと

11 お知らせ

本書の読みかた

このたびは、キヤノンDC20/DC10をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本書の記載

：守っていただきたいこと

：知っておいていただきたいこと

（📖 ○○）：参照ページ

「画面」：液晶画面またはファインダーの画面

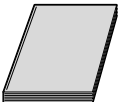
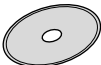
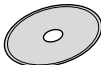
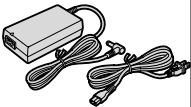
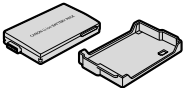
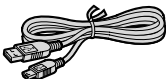
「カード」：miniSDカード

「画像」：静止画と動画

「選ぶ」：十字ボタンを▲/▼/◀/▶側に押して、項目を選ぶこと

「決定する」：十字ボタンをまっすぐ押すこと

・作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。

・本体や画面のイラストは、主にDC20を使って説明しています。

動作モード

動作モードは、電源スイッチと動画/静止画切換スイッチで切り換えます。

動作モード	電源スイッチ	動画/静止画切換スイッチ	画面の表示	主な動作内容	📖
カメラ・	カメラ			ディスクに動画を撮影します。	35
再生・	再生			ディスクの動画を再生します。	41
カメラ・	カメラ		/	ディスクまたはカードに静止画を記録します。	37
再生・	再生		/	ディスクまたはカードの静止画を再生します。	43

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

DC20/DC10 使用説明書	Digital Video Software 使用説明書	DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK (CD-ROM)	Roxio MyDVD for Canon (CD-ROM)
コンパクトパワーアダプター CA-570 電源コード	バッテリーパック BP-208	リモコン(ワイヤレスコントローラー) WL-D86	コイン型リチウム電池CR2025 (リモコン用)
マルチケーブル MTC-100	USBケーブル IFC-300PCU	DVD-R ディスク (8cm)	

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に録画・録音されていることを確認してください。
万一、ビデオカメラが正常に動作しない場合、「故障かな？」（📖 152）をご確認ください。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやディスク、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

録画モードについて

高画質（XP）、標準（SP）、長時間（LP）の中から録画モードを選びます。
長時間モードでは、ディスクの特性や使用環境に影響され、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影には高画質／標準モードをお使いください。
記録可能時間は、撮影状況によって、画面に表示されるディスク空き容量とは異なる場合があります。

液晶画面やファインダーについて

液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

商標について

- miniSD™は、SDカードアソシエーションの商標です。
- Macintosh, Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- DVD R/RW は、DVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告　火災、感電、破裂などにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠注意　人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

万が一のとき

⚠警告

プラグをコンセントから抜く

● ・煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生したとき
・落としたり、外装を破損したとき
・内部に水、海水などの液体や異物が入ったとき
上記の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックもはずす。
火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店に修理を依頼してください。

接触禁止

● **雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。**
感電の原因。

禁止

● **バッテリーパックから液もれしていたら使わない。**
皮膚の障害、失明、発火の原因。
・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
・万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

機器を取り扱うとき

⚠警告

分解禁止

● **分解、改造しない。**
発熱、火災、感電、けがの原因。

禁止

● **強い振動や衝撃を与えない。**
破損により、火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは、強い衝撃を与えて、割れるとけがの原因。

⚠警告

● **指定された機器を使用する。**
火災、感電、けがの原因。

● **機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせない。また、ディスクの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。**
火災、感電、けがの原因。

● **ぬらさない。**
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特に注意してください。

● **絶対に、バッテリーパック、コイン型リチウム電池などを、加熱や火中投入しない。**
破裂により、やけど、けがの原因。

● **電源コードを傷つけない。**
・加工しない。
・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。
電源コードが傷つくと（芯線の露出、断線等）、火災、感電の原因。

● **電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
火災、感電の原因。

● **充電中は長時間触れない。**
低温やけどの原因。

● **海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源につながない。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。**
火災、感電、けがの原因。

● **回転中のディスクには手を触れない。**
けがの原因。

⚠注意

強制

● **飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

ぬれ手禁止

● **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因。

強制

● **コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまない。**
発熱により、やけどの原因。

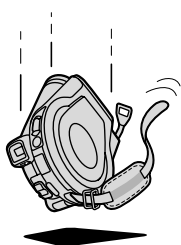
強制

● **コード類は、つまづかないように配置する。**
足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制

● **バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付ける。**
脱落すると、けがの原因。

強制

● **バッテリーパックやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。**
落ちると、けがの原因。

使用・保管するとき

⚠警告

風呂場、シャワー室での使用禁止

● **風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。**
内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

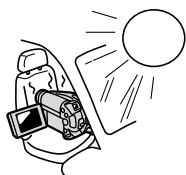
禁止

● **直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。**
発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

● **不安定な場所に置かない。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

強制

● **電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。**
火災の原因。

⚠警告

禁止

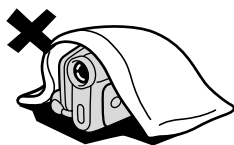
● **バッテリーパックの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。**
「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

禁止

● **ひび割れ、変形や補修したディスク、特殊形状のディスクは使わない。**
けがの原因。

⚠注意

禁止

● **ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。**
内部に熱がこもり、火災の原因。

プラグをコンセントから抜く

● **使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
火災の原因。

撮るとき

⚠警告

禁止

● **運転中に使用しない。**
交通事故の原因。

強制

● **撮影しているときは、周囲の状況に注意する。**
けが、交通事故の原因。

お子様がそばにいるとき

⚠警告

強制

● **コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置く。**
万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

強制

● **乳幼児の手の届かないところに置く。**
感電、けがの原因。

⚠注意

指をはさまれないよう注意

● **お子様がディスクカバーを閉めるときに、指を挟まれないようにする。**
けがの原因。

DC20 フラッシュ・ミニビデオライトを使うとき

⚠注意

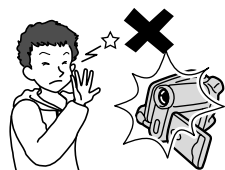
禁止

● **フラッシュを人の目に近づけて発光しない。**
目を痛める原因。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

禁止

● **車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。**
事故の原因。

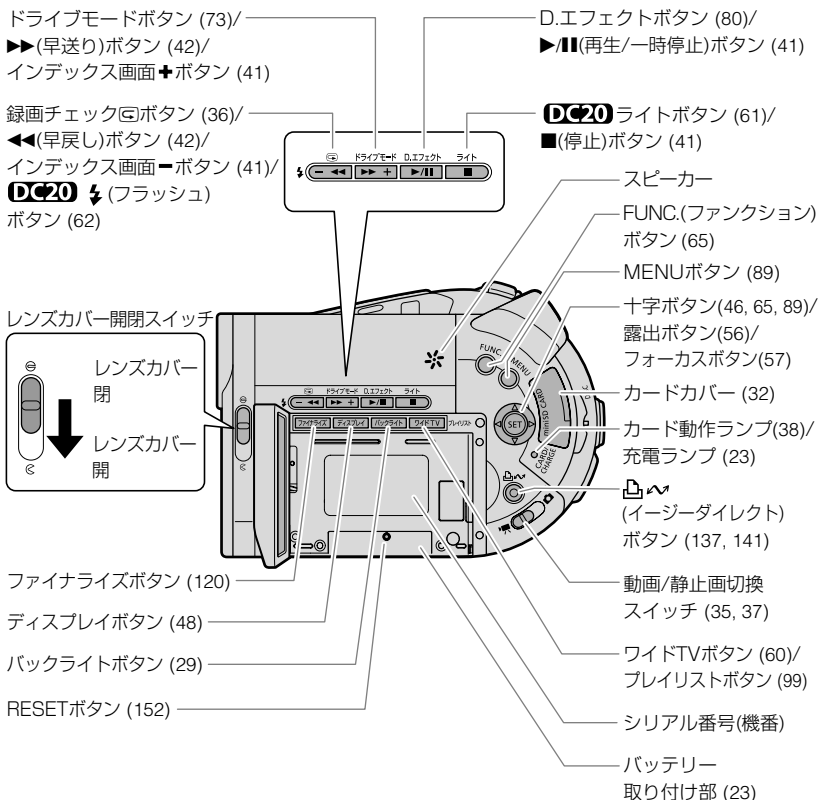
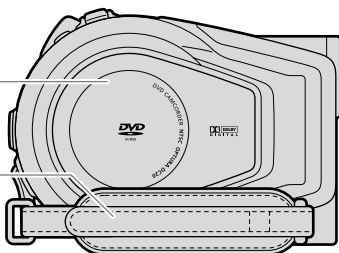
禁止

● **フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。**
やけどの原因。

各部のなまえ

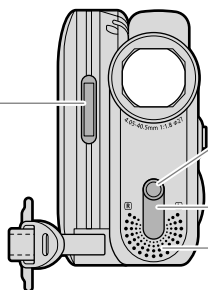
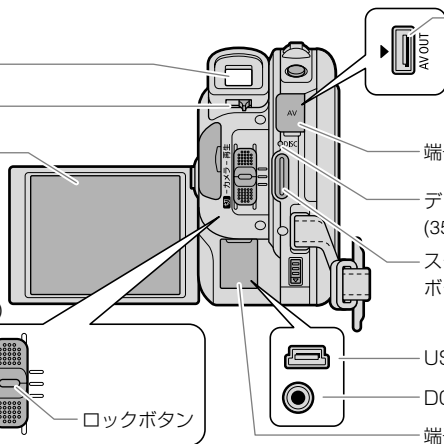
(　)内の数字は参照ページです。

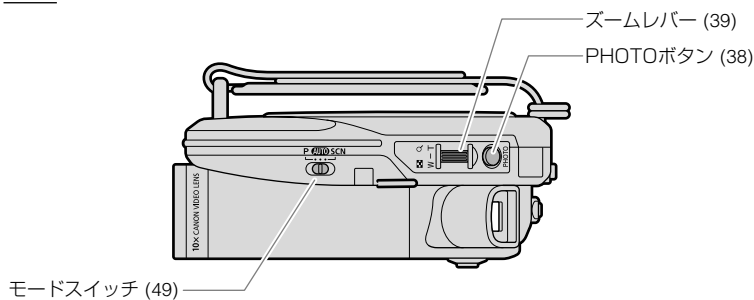
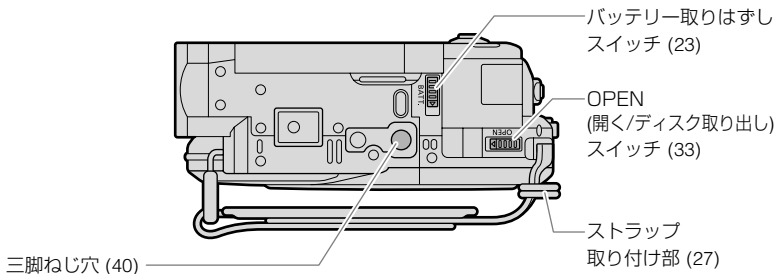
左面

右面

ディスクカバー (33)
グリップベルト (27)
DVD
R/RW
DVD CAMCORDER NTSC OPTURA DC20
DOLBY DIGITAL

正面

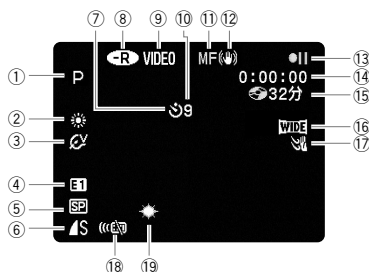
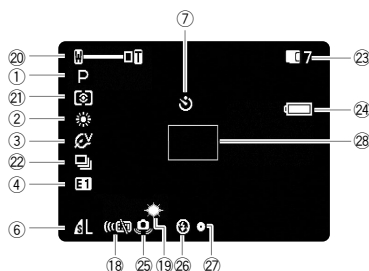
DC20 フラッシュ (62)
DC20 ミニビデオライト (61)
リモコン受光部 (28)
ステレオマイク
4.05-40.5mm 1:1.8 φ27

後面

映像/音声端子 (124, 125)
AV OUT
ファインダー (27)
視度調整レバー(27)
液晶画面(LCD) (29)
端子カバー
AV
DISC
ディスク動作ランプ (35)
スタート/ストップボタン (35)
切 – カメラ – 再生
電源スイッチ(32, 33)
ロックボタンを押しながら、切り換えます。
ロックボタン
USB端子 (128)
DC IN端子 (23)
端子カバー

各部のなまえーつづき

上面

底面

画面の表示

（　）内の数字は参照ページです。

撮る

動画（カメラ/ビデオ）

静止画（カメラ/カメラ）

① 撮影モード (49)
② ホワイトバランス (69)
③ 画質効果 (71)
④ デジタルエフェクト (77)
⑤ 録画モード (67)
⑥ 静止画／画質サイズ (86)
⑦ セルフタイマー (64)
⑧ ディスクの種類 (33)
⑨ 記録方式 (34)
⑩ お知らせタイマー
⑪ マニュアルフォーカス (57)
⑫ 手ぶれ補正 (91)
⑬ 撮影状況 (34)
⑭ 撮影時間
⑮ ディスク空き容量
⑯ ワイドTV (60)
⑰ ウィンドカット (91)
⑱ リモコンセンサー (95)
⑲ **DC20** ミニビデオライト (61)
⑳ ズーム (39)、露出 (56)
㉑ 測光 (68)
㉒ ドライブモード (73)
㉓ 静止画の記録可能枚数 (86)
㉔ バッテリー残量 (22)
㉕ 手ぶれ警告 (90)
㉖ **DC20** フラッシュ (62)
㉗ 静止画記録でのピント、露出調整 (38)
㉘ AF枠 (38)

■撮影時間

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。

■ディスク空き容量

撮影中にディスクの容量がなくなると「 END」が点灯し、停止します。

■お知らせタイマー

・撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。
・一つの場面が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら撮影すると便利です。

画面の表示ーつづき

■バッテリー残量の目安 [battery icons]

・「[battery icon]」が赤く点滅したら、充電したバッテリーパックと交換します。
・消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「[battery icon]」が出ずに電源が切れたりすることがあります。
・実際の残量と表示内容は、本機やバッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

■ディスク撮影/再生状況

●：録画、❚❚：一時停止、■：停止、▶：再生、▶▶：早送り、◀◀：早戻し

■カード静止画の記録可能枚数

[card icon] 6 緑色表示：6枚以上　[card icon] 5 黄色表示*：1～5枚　[card icon] 0 赤色表示*：0枚

* カード再生時はすべて緑色になります。

・記録可能枚数は、記録時の状況により、異なる場合があります。記録しても、枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることもあります。

■書き込み表示

カードやディスクに静止画を書き込んでいるときに、「▶」が出ます。

見る

動画（再生/[movie icon]）

① 撮影シーン数
② 撮影日時 (41)

① 再生状況
② 再生時間 (41)
③ 再生シーン番号
④ データコード (48)

静止画（再生/[camera icon]）

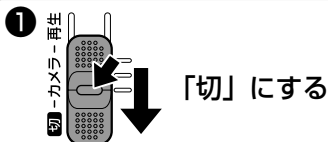
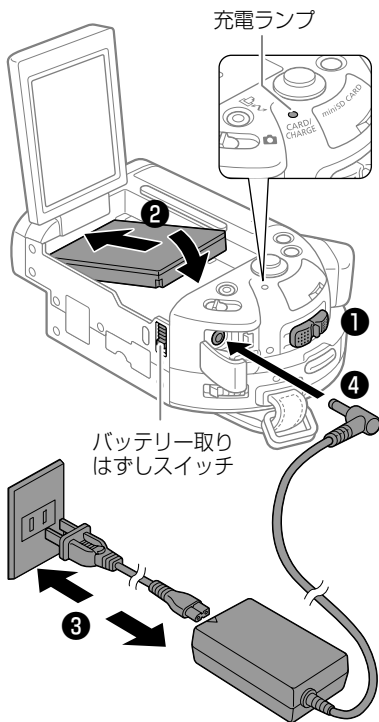
① 画像番号 (96)
② 画像枚数 (86)
③ 静止画サイズ (86)
④ データコード (48)
⑤ 画像プロテクト (117)

ステップ1　電源を準備する

本機は、バッテリーパック、または家庭用コンセントにつないで使用します。バッテリーパックは、充電してから使用します。

バッテリーパックを充電する

準備　バッテリーパックから、ショート防止用端子カバーを取りはずします(□ 168)。

❶「切」にする

❷ バッテリーパックを左にずらし、カチッとロックされるまで押し付ける

❸ 電源コードをコンパクトパワーアダプター、コンセントの順に差し込む

❹ 端子カバーを開き、DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

充電ランプが点滅し、充電が始まります。

充電が終わると、充電ランプが点灯します。

■充電が完了したときは

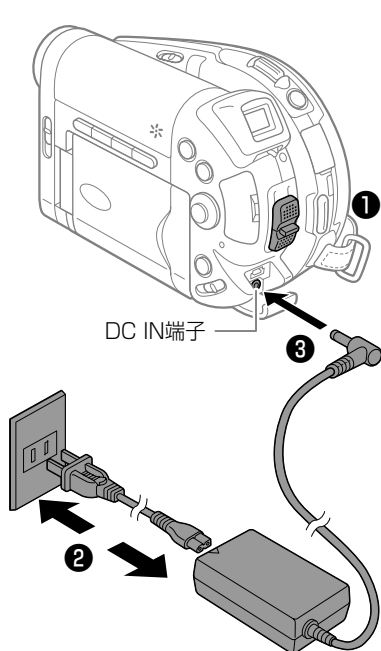
①コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

②電源コードをコンセント、コンパクトパワーアダプターから順に抜く

■バッテリーパックを取りはずすときは

バッテリー取りはずしスイッチを下に押し、バッテリーパックのツマミに指をかけて持ち上げる

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。また、バッテリーパックは取り付けたまま使用しても、バッテリーパックは消耗しません。

❶「切」にする

❷ 電源コードをコンパクトパワーアダプター、コンセントの順に差し込む

❸ 端子カバーを開き、DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

- ❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- ❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- ❍ バッテリーパックの充電中は、電源コードをコンセントから抜き差ししないでください。充電が停止したり、充電ランプが点灯しても正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを取りはずし、取り付け直してください。また、充電中に停電が起きた場合も、同じ手順で充電し直してください。

❍付属のバッテリーパックBP-208をフル充電したときの使用時間は、次のとおりです。バッテリーパックの充電時間は約165分です。SPモードのときの再生時間は DC20 ：約80分、 DC10 ：約90分です。

DC20

録画モード			連続撮影時間	実撮影時間*
XP	ファインダー使用時		65分	35分
	液晶画面使用時	標準	60分	30分
		明るい	60分	30分
SP	ファインダー使用時		70分	35分
	液晶画面使用時	標準	70分	35分
		明るい	65分	30分
LP	ファインダー使用時		80分	40分
	液晶画面使用時	標準	75分	35分
		明るい	75分	35分

DC10

録画モード			連続撮影時間	実撮影時間*
XP	ファインダー使用時		75分	35分
	液晶画面使用時	標準	70分	35分
		明るい	70分	35分
SP	ファインダー使用時		80分	40分
	液晶画面使用時	標準	80分	40分
		明るい	75分	40分
LP	ファインダー使用時		95分	45分
	液晶画面使用時	標準	90分	45分
		明るい	85分	40分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間の目安です。

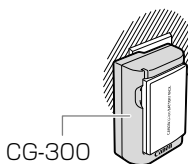
❍コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。

❍ 充電ランプの点灯や点滅が、充電した量の目安を表します。

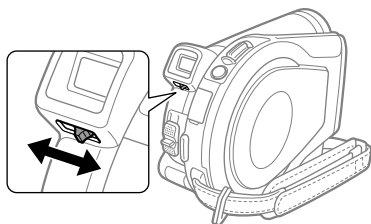
点灯　：充電完了
点滅（約1秒間隔で2回ずつ）：半分以上
点滅（約1秒間隔で1回ずつ）：半分以下

❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが早い連続した点滅になり、充電を中止します。

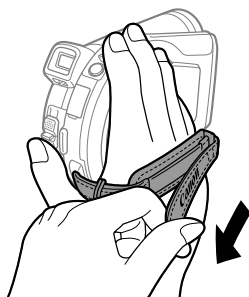
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

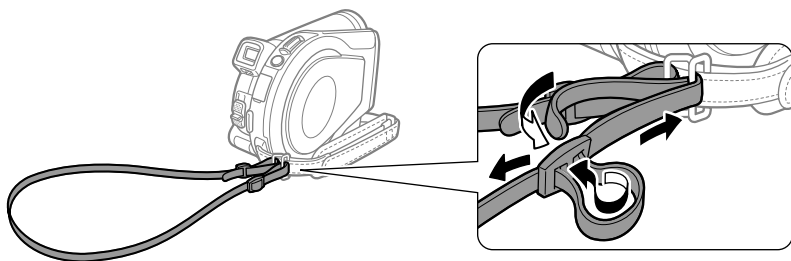
- ❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
- ❍ バッテリーパックは、別売のバッテリーチャージャーCG-300を使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。充電時間は、約105分です。

- ❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
  ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。

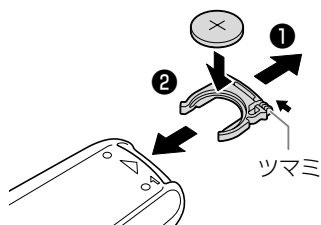
ステップ2　カメラの準備

ファインダーを調整する（視度調整）

電源を入れ、レンズカバーを開けて、ファインダー内の表示がはっきり見えるように視度調整レバーで調整します。

ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をしっかりと閉じてください。

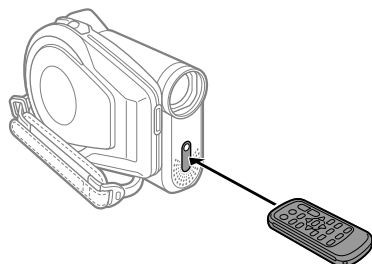
グリップベルトを調整する

親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

別売のショルダーストラップを取り付ける

ステップ3　リモコンを使う

電池の入れかた（コイン型リチウム電池CR2025）

❶ ツマミを矢印の方向に押しながら、電池入れを引き抜く

❷ 電池を入れ、電池入れを取り付ける

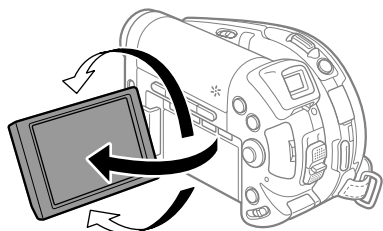
電池の＋側を上にして、電池入れに入れます。

操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

①スタート/ストップボタン（📖35）
②FUNC.ボタン（📖65）
③MENUボタン（📖89）
④プレイリストボタン（📖99）
⑤十字ボタン（📖46、65、89）
⑥前/次ボタン（📖41）
⑦サーチ/スローボタン（📖42）
⑧一時停止ボタン（📖41）
⑨PHOTOボタン（📖38）
⑩ズームボタン（📖39）
⑪再生ボタン（📖41）
⑫停止ボタン（📖41）
⑬ディスプレイボタン（📖48）

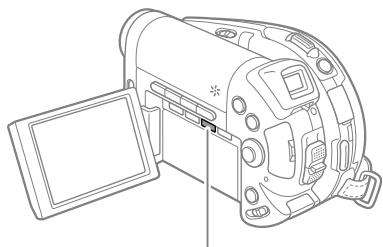
❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
❍ リモコンで操作できないときは、メニューの「システム設定」で「リモコンセンサー」を「入」にしてください（📖95）。
❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。

ステップ4　液晶画面を調整する（対面撮影、バックライト）

液晶画面の角度を変える

液晶画面の下に指を引っ掛けて、90°まで開く

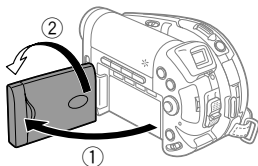
- ファインダー側に90°まで回転できます。
- レンズ側に180°まで回転できます（対面撮影）。

液晶画面全体を明るくする（バックライト）

液晶画面の明るさを、「標準」と「明るい」に切り換えられます。屋外での撮影などに便利です。

バックライトボタン

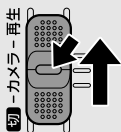
押す

押すたびに、明るさが切り換わります。

- ❍ ディスクやカードに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさも変わりません。
- ❍ 液晶画面を明るくしていると、バッテリーパックの使用時間が短くなります。
- ❍ 対面撮影では液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（🕮 64）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。

ステップ5　日時を設定する

日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定します。

世界時計のエリアを選ぶ

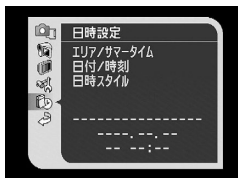
1

「カメラ」または「再生」にする

押す

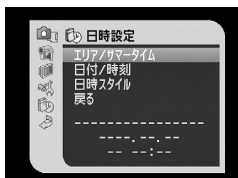
- メニューが出ます。

3

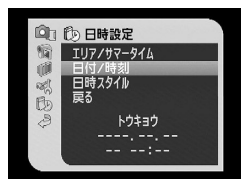
「日時設定」を選び、決定する

4

①「エリア/サマータイム」を選び、決定する

- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に出ます。

②現在のエリアを選び、決定する

日付／時刻を設定する

5

「日付/時刻」を選び、決定する

6

①◀/▶で年、月、日、時刻を選び、決定する

● ▲/▼で数字を選びます。

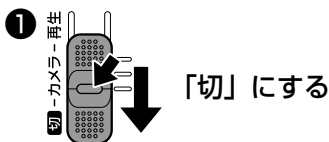
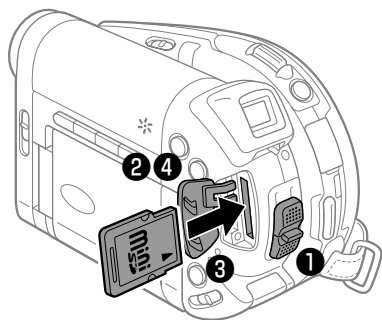
②押す

❍ 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（□ 170）。

❍ 日時スタイルを変更できます（□ 96）。

ステップ6　カードを入れる

本機は、miniSDカード専用です。

❶ 「切」にする

❷ カバーを開ける

❸ カードをまっすぐ、奥まで
しっかり入れる

❹ カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で、
カバーを無理に閉じないでください。

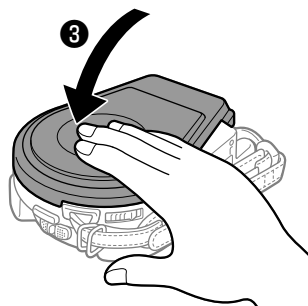
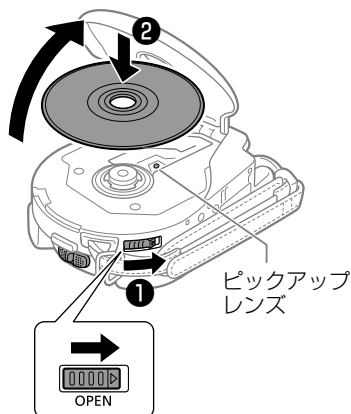
■カードを出すときは
カードの端を一度押して、カードが出て
きたら抜く

カードを使用するときは、必ず本機で初期化してください（🕮 119）。

すべてのカードの動作を保証するものではありません。

ステップ7　ディスクを入れる

ディスクは DVD R または DVD RW の付いた、8cm DVD-Rまたは8cm DVD-RWをお使いください。

準備	ディスクに付いた汚れや指紋は、めがね拭きなどの柔らかい布で拭きとっておいてください。

❶ 「カメラ」にする

❷ 矢印方向に押し、ディスクカバーを止まるところまで開く

OPEN

- グリップベルトは、引っ掛からないように本機の下にずらしてください。
- ディスクが入っている場合はOPENスイッチを押した後、開くまで時間がかかることがあります。

❸ 片面ディスクの場合は、ラベル面を外側にして入れる

- ディスクの中央を押して、カチッと音がするまではめ込む。
- ディスクの記録面やピックアップレンズには触れないようにしてください。

■ディスクを取り出すとき

ディスクの端に指を引っ掛けて取りはずす

❹ 閉じる

ディスクが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

■DVD-Rのとき（付属または市販）

●❚❚（撮影一時停止中）が出たら、そのまま撮影を始められます（📖 35）。

■DVD-RWのとき（市販）

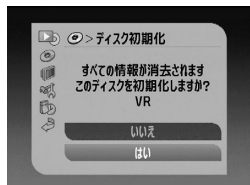
はじめて撮るときは、まずディスクを初期化します。自動的に、記録方式を選ぶ画面が出ます。2回目以降は、この操作は必要ありません。

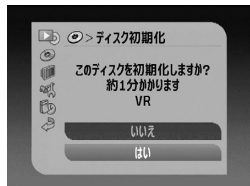
「VIDEOモード」または「VRモード」を選び、決定する

- 記録方式については、「ディスクを選ぼう！」をご覧ください。

❷

「はい」を選び、決定する

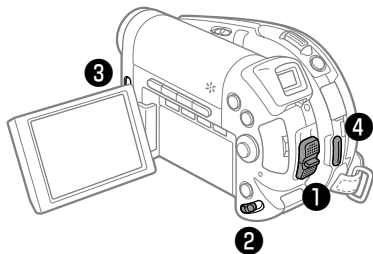
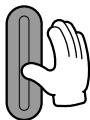
❸

「はい」を選び、決定する

- ディスク初期化が始まります。
- ●❚❚（撮影一時停止中）が出たら、そのまま撮影を始められます

❍ ディスク認識中に何か操作を行うと、ディスク初期化画面が自動的に出ない場合があります。メニューからディスク初期化してください（📖 110）。

❍ ディスクを入れた後、ディスクの読み込みに多少時間がかかります。読み込み中は、ディスク読み込みマーク（💿）が表示されます。動画再生中は、「ディスク認識中です」の表示が出ます。読み込みが終わってから、操作を行ってください。

❍ 録画時間については「録画モード」（📖 67）をご覧ください。

動画（シーン）を撮影する

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。DVD-Rの場合は画像を消去できないので、市販のDVD-RWでためし撮りすることをおすすめします。

押す

- 撮影（録画）が始まります。
- もう一度押すと、撮影一時停止になります。
- 撮影中や、撮影一時停止にした直後はディスク動作ランプが点灯します。

■撮影が終わったら
①ディスクを取り出す
②電源スイッチを「切」にする
③バッテリーパックを取りはずす
④液晶画面を垂直にしてから、カチッと音がするまでしっかりと閉じる
⑤レンズカバーを閉じる（にする）

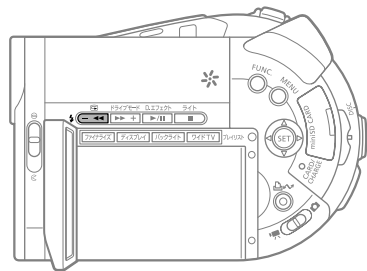
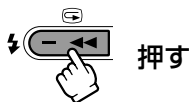
画面右上に▶ ◎ が出ていたり、ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。ディスクのデータを破損する恐れがあります。
- ・ディスクカバーを開けたり、ディスクを出したりしない。
- ・電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切換スイッチを切り換えない。
- ・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

❍ 周囲が明るくて液晶画面が見にくい場合は、ファインダーをお使いください。

❍ 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。

❍ **バッテリーパックを使用時は、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます（****□ 95****）。電源が切れる約30秒前に「⚠ AUTO POWER OFF」が出ます。電源が切れた場合は、電源を入れ直してください。**

ディスクに撮影したシーンを確認する（録画チェック）

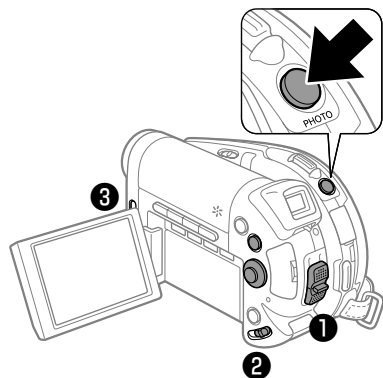
最後に撮影したシーンを確認できます（録画チェック）。

録画チェック

押す

- 撮影した最後のシーンが再生され、撮影一時停止に戻ります。
- 録画チェック中に、シーンの消去も行えます（□ 101）。

■録画チェックを中止するとき

録画チェック中に、十字ボタンで「↩」を選び、決定します。

静止画を記録する

カードに静止画を記録する場合は、はじめにカード初期化を行ってください（📖 119）。

❶「カメラ」にする

❷「📷」にする

❸ レンズカバーを開ける（にする）

❹

押す

❺

「システム設定」➤「静止画メディア選択」を順に選び、決定する

❻

「カード」または「ディスク」を選び、決定する

押す

浅く押し続ける

- ピント調整が終わると、●が緑色になり、緑色のAF枠が出ます。おしらせ音が鳴ります。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

深く押す

- シャッター音と同時に、シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カード動作ランプ、またはディスク動作ランプが点滅します。

画面右上に▶□や▶◎が出ていたり、カード/ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードやディスクのデータを破損する恐れがあります。

・ カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
・ 電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切換スイッチを切り換えない。
・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

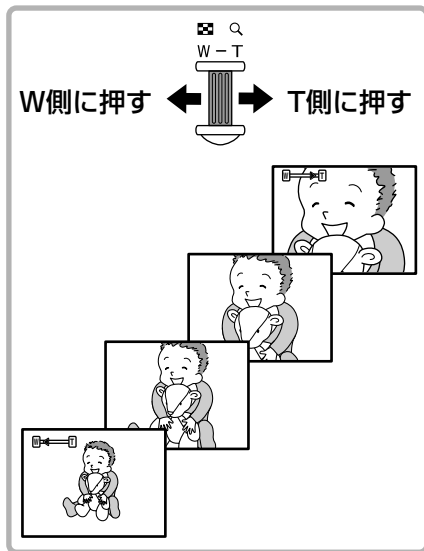
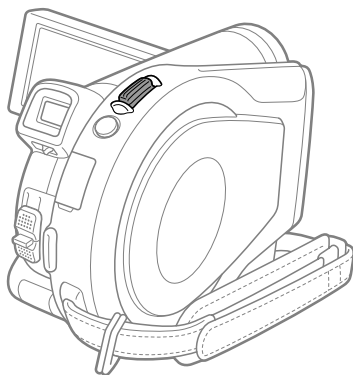
❍ **AF枠について**
AFとは、Auto Focus（オートフォーカス）の略で、自動でピントを合わせることです。本機では、被写体が中央になくても、9つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選んでピントを合わせる9点AiAFが使用できます。AF枠の選びかたは変更でき、撮影モードによって異なります（□ 59）。

❍ 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、●が黄色くなります。PHOTOボタンを浅く押したまま、十字ボタンを◀/▶に押してピントを合わせることをおすすめします。

❍ 被写体が明るすぎて露出過多になると、「露出オーバー」の表示が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H27UのNDフィルターを取り付けてください。

❍ **バッテリーパックを使用時は、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます（□ 95）。電源が切れる約30秒前に「⚠ AUTO POWER OFF」が出ます。電源が切れた場合は、電源を入れ直してください。**

ズームを使う

ズームレバーを動かして、被写体の大きさを決めます。10倍の光学ズームを使用できます。カメラ・🎥 では、200倍のデジタルズームも使用できます（□ 91）。

- ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。リモコンでは、ズームスピードは一定です。
- 撮影一時停止中、ズームスピードはより速くなります。
- **T**はtelephoto（テレフォト）（望遠）、**W**はwide（ワイド）（広角）の頭文字です。
- ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。

上手な構えかた

ビデオカメラ本体の持ちかた

ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構えかた

・右手でグリップを持ち、右脇をしめる
・左手は軽くカメラの底にそえて安定させる

状況に合わせて構えかたを変えましょう。

液晶画面の角度を、姿勢に合わせて調整します。

・壁に寄りかかる

・テーブルなどを利用して本体を置く

・三脚を使う

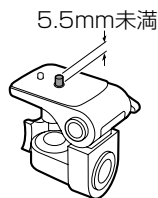
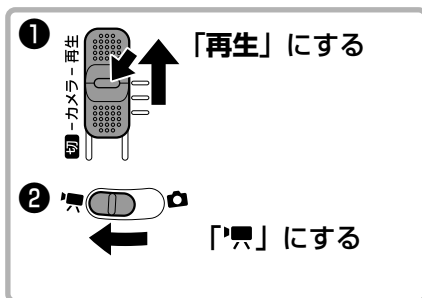
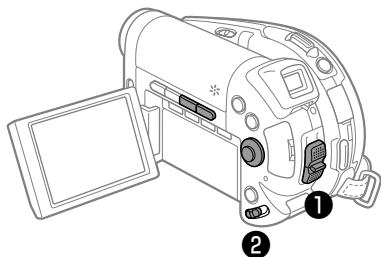
・片膝立ちになる

・ひじをたてて地面に伏せる

ライティング

屋外では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

三脚を使うときは

・直射日光がファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ファインダーを太陽に向けないでください。
・三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。

動画（シーン）を再生する

シーンを選ぶ

● 画面を切り替えるときは、インデックス画面 ＋ / － ボタンまたはリモコンの前/次ボタンを押します。

❹

押す

●選んだシーンから最後のシーンまで再生されます。

❺

押す

●再生が終わります。

❍ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。

❍ **再生中の画面表示について**

撮影した時間は、「時：分：秒」で表示されます。

❍ 再生中、撮影した日時やカメラデータも表示できます（🕮 48）。

2 かんたん！ ● 見る

いろいろな再生

早送り再生 ▶▶	再生中に本体の▶▶（早送り）ボタンやリモコンの▶▶（サーチ）ボタンを押すたびに、約1.5倍、約5倍、約15倍、約25倍の早送り再生に切り換わります。再生▶ボタンを押すと、普通の再生に戻ります。
早戻し再生 ◀◀	再生中に本体の◀◀（早戻し）ボタンやリモコンの◀◀（サーチ）ボタンを押すたびに、約2.5倍、約5倍、約15倍、約25倍の早戻し再生に切り換わります。再生▶ボタンを押すと、普通の再生に戻ります。
再生一時停止 ❚❚	再生中に▶/❚❚（一時停止）ボタンを押します。
スロー再生 ◀❙ ❙▶	再生一時停止中に本体の▶▶（早送り）ボタンやリモコンの❙▶（スロー）ボタンを押すたびに、通常の約1/16倍、約1/8倍、約1/4倍、約1/2倍のスロー再生に切り換わります。本体の◀◀（早戻し）ボタンやリモコンの◀❙（スロー）ボタンを押すと、逆スロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、再生一時停止に戻ります。
シーンサーチ再生	再生中に十字ボタンを▶に1回押すと次のシーンの先頭から再生されます。十字ボタンを◀に1回押すと再生中のシーンの先頭から、2回押すと前のシーンの先頭から再生されます。

❍ いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。約1.5倍の早送り再生のときのみ、音は出ます。
❍ 再生機能によっては、画面がとぶことがあります。
❍ VIDEOモード（記録方式）の場合、スロー再生はできません。
❍ 撮影条件によっては、シーンの切り替わりで画像が静止したり、音声が途切れたりすることがあります。
❍ フォトムービーのとき、早送り／早戻し／スロー再生などはできません。画面に再生状況表示は表示されます。

静止画を再生する(スライドショー、インデックス画面、ジャンプ機能)

❶「**再生**」にする

❷「📷」にする

❸

押す

❹

「システム設定」➤「静止画メディア選択」を順に選び、決定する

❺「カード」または「ディスク」を選び、決定する

❻

押す

❼

静止画を選ぶ

- ❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
- ❍ 本機以外の製品で記録した静止画は、正しく再生されないことがあります。
- ❍ 画面右上に▶ や▶ が出ていたり、カード/ディスク動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードやディスクのデータを破損する恐れがあります。
  - ・カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
  - ・電源を切らない。電源スイッチや動画/静止画切換スイッチを切り換えない。
  - ・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

順番に再生する（スライドショー）

①押す
②（スライドショー）を選び、決定する
③「スタート」を選び、決定する

- FUNC.ボタンを押すと、スライドショーを終了します。

インデックス画面から選ぶ

W側に押す

▲/▼/◀/▶に押す

- 画面が移動します。
- 「☞」を再生したい静止画に合わせます。
- インデックス画面＋／－ボタンで画面を切り換えられます。

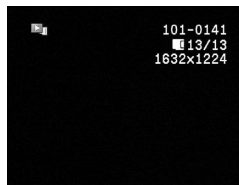
T側に押す

- 選んだ1枚の静止画が画面に出ます。

すばやく探し出す（ジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプできます。
画面の右上に出る数字は、記録した静止画の合計枚数（全枚数）と再生している静止画が何枚目になるか（表示番号）を表しています（□（表示番号）/（全枚数））。

①◀/▶に押し続ける
②ボタンを離す

- 表示番号の静止画が画面に出ます。

音量を調整する

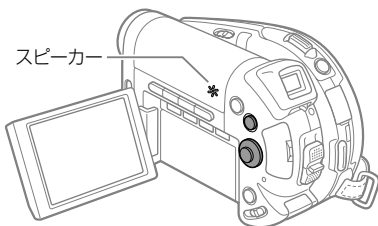
液晶画面で再生するときに、同時にスピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーは切れます。

再生・

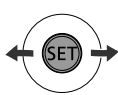
❶

動画再生中

押す

❷

「システム設定」➤「音量」を順に選び、決定する

❸

◀/▶に押す

- 音声を消すときは、「」が出るまで十字ボタンを◀に押し続けます。

❹

押す

画面を拡大する（再生ズーム）

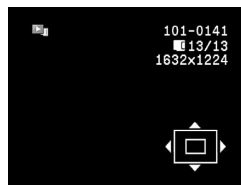
静止画を再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

再生・📷

1

再生中

T側に押す

- 画面中央が拡大されます。
- 縮小するときは、ズームレバーをW側に押します。
- 拡大できない静止画のときは、「 」の表示が出ます。

2

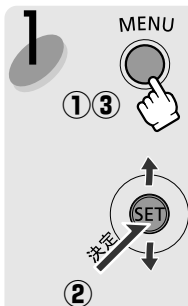
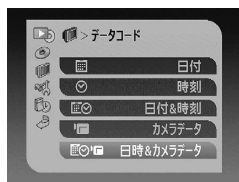
▲/▼/◀/▶に押す

■画面を元に戻すとき

拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押します。

撮影情報を表示する（データコード）

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。

1

①押す
②「表示設定」➤
「データコード」➤
設定内容を順に選び、
決定する
③押す

- カードを再生するときは、日付と時刻のみ選択できます。

2

■ のとき

①動画を再生する
②押す

■ 再生・ のとき

①静止画を再生する
②押す

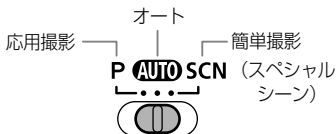
- 画面の表示は、ディスプレイボタンを押すたびに切り換わります。

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

① AUTO オート

すべてをカメラまかせ。スタート/ストップボタンを押すだけで、簡単に撮影できます。

オート
応用撮影
簡単撮影
P AUTO SCN（スペシャルシーン）

② 応用撮影　思いどおりのさまざまな撮影ができます。

P プログラムAE
（📖 52）

Tv シャッター優先AE
（📖 53）

Av 絞り優先AE
（📖 55）

③ 簡単撮影　被写体に合う条件をカメラまかせで、簡単に撮影できます。

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせて撮るときに使います。

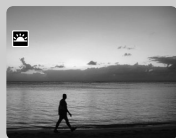
ビーチ

夏の海岸で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

スポーツ

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体を撮るときに使います。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮影できます。

ナイト

暗い場所で撮るときに使います。

スポットライト

スポットライトで照明されたシーンをきれいに撮影できます。

スノー

冬のスキー場で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮影できます。

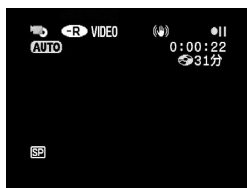
撮影モードの選びかた

1 モードを選ぶ

- AUTO ：オートになります。
- P ：P （プログラムAE）
  Tv （シャッター優先AE）
  Av （絞り優先AE）
  を選びます。
- SCN ：スペシャルシーン
  （ポートレート、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）を選びます（□ 49）。

P AUTO SCN

■ PまたはSCNを選んだとき

2 押す

■ Pのとき

■ SCNのとき

モードマーク ➤ モードを順に選ぶ

■ Pのとき

■ SCNのとき

押す

- ❍ 撮影モードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化することがありますので、撮影中はモードを変えないでください。
- ❍ ポートレート
  - ・ ズームを望遠（T）側にすると、背景がより効果的にぼけます。
  - ・ 再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ スポーツ
  再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ ナイト
  - ・動きのある被写体は、尾を引いたような残像になることがあります。
  - ・明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
  - ・画面に白い点などが現れることがあります。
  - ・自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
- ❍ スノー／ビーチ
  - ・曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
  - ・再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ 打上げ花火
  手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。（カメラ・📷）のときは、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

P プログラムAEで撮る

被写体に応じて適正な明るさに設定するために、カメラが自動的にシャッタースピードと絞り数値を設定します（プログラム）。その他の項目は手動で調整できます。
AEは、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で、自動露出のことです。

カメラ・ / カメラ・

適正な明るさを得られないときは、次の操作をしてください。

❍ 手動で明るさを変える（□ 56）。
❍ 測光のしかたを変える（□ 68）。
❍ DC20 フラッシュを使う（□ 62）。
❍ DC20 ミニビデオライトを使う（□ 61）。

Tv シャッタースピードを決めて撮る(シャッター優先AE)

シャッタースピードを設定すると、被写体に応じて、適正な明るさに設定するために必要な絞り数値を、カメラが自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体を瞬間でとらえることができます。シャッタースピードを遅くすると、水の流れなどの流動感を表現できます。
Tvは、Time value（タイムバリュー）の略で、時間量のことです。
シャッタースピードを選ぶときの目安は、以下のとおりです。

カメラ/動画	カメラ/静止画	
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	明るさが不足する場所で、被写体を明るく撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のときに使います。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	ー	晴天下で、テニスやゴルフなどのスポーツをしている人を撮影するとき。

カメラ・動画 / カメラ・静止画

1

Tv を選ぶ（□ 50）

2

①押す
②数値を選び、決定する

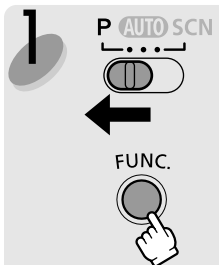
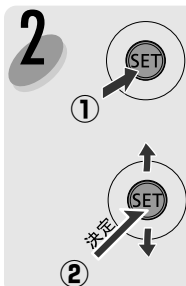
❍ 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
❍ 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
❍ 1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
❍ 高速シャッターでは、画像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
❍ 蛍光灯下で動画を撮影する場合は、モードスイッチが AUTO 、P 、またはナイト（SCN）のときは、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面がちらつくときは、Tv を選び、1/100秒を選んでください。

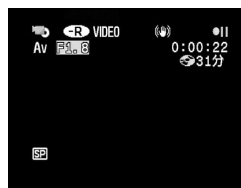
Av 絞り数値を決めて撮る（絞り優先AE）

絞り数値を設定すると、被写体に応じて適正な明るさに設定するために必要なシャッタースピードを、カメラが自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。絞り数値を大きくする（閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまで鮮明に撮影できます。
Avは、Aperture value（アパチャーバリュー）の略で、開口量のことです。
絞り数値：1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0、9.5、11、14、16

1

Av を選ぶ （📖 50）

2

①押す
②数値を選び、決定する

● 数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

❍ 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。
❍ 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、絞り数値を調整してください。

手動で明るさを変える（露出ロック／露出補正）

被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。
画面の明るさを変えて効果的な画創りができます。

明るさを固定する（露出ロック）

カメラ・ / カメラ・

1

AUTO 以外にする

- 打上げ花火（SCN）を設定しているときは、使用できません。

露出ボタンを押す

- 露出ロック中にズームを操作すると、画面の明るさが変わることがあります。

明るさを補正する

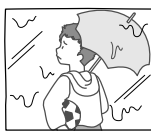
カメラ・ / カメラ・

露出ロック中

◀/▶に押す

- 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わります。

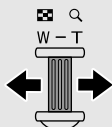
手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます（マニュアルフォーカス）。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

・輝いたり、強い光が反射している
・明暗の差や縦の線がない
・動きが速い
・水滴や汚れの付いたガラス越し
・夜景

カメラ・🎥 / カメラ・📷

1

AUTO 以外にする

2

被写体の大きさを決める

3

フォーカスボタンを押す

● 「MF」の表示が出ます。

つづく

◀/▶に押し続ける

- ピントを合わせます。
- フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻ります。「MF」の表示が消えます。

❍ モードスイッチを AUTO にすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮る

ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。

カメラ・ / カメラ・

前ページ手順2の後

2秒以上押し続ける

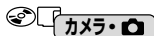
- ピントが無限遠になり、「∞」の表示が出ます。
- もう一度フォーカスボタンを押すと、表示は消え、オートフォーカスに戻ります。

「∞」の表示が出ているときに、ズームレバーまたは十字ボタンを◀/▶に押すと、「MF」に変わり、手動ピント合わせになります。

ピントの合わせかたを変える

AF（オートフォーカス）枠の選びかたを変えて、撮影できます。

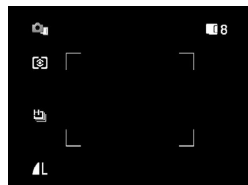
9点AiAF（自動選択）	撮影状況によって、9つのAF枠の中から、自動的にAF枠を選んでピントを合わせます。
中央1点	9つのAF枠のうち、中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

カメラ・

撮影モードを選ぶ

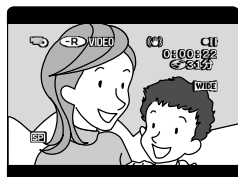
- モードスイッチの位置により、設定は異なります。

AUTO　：9点AiAF
P、SCN　：9点AiAF、中央1点（打上げ花火を設定しているときは、使用できません。）

◀/▶に押す

- 9点AiAF：画面に大きな枠が出ます（AUTO のときは出ません）。
- 中央1点：画面中央に枠が出ます。

ワイド画面で撮る（ワイドTV）

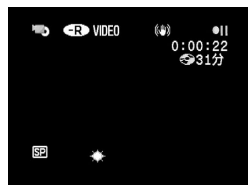
ワイドテレビ（画面の横：縦の比率が16：9）用機能を使うと、CCDをより広く活用して、通常よりも広い範囲を高画質で撮影できます。

カメラ・

- ❍ VIDEOモードで長時間モード（LP）に設定されているときは、ワイド画面で撮影できません。VRモードの場合はワイド画面で撮影できます。
- ❍ メニューで「手ぶれ補正」を「切」にすると、さらに広い範囲を撮影できます。
- ❍ ワイド画面で撮影したディスクをテレビで再生するときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくは、テレビの説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横：縦の比率が4：3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1-映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面に切り換わります。

DC20 ミニビデオライトを使う

撮影モードに関係なく、いつでもミニビデオライトを点灯できます。

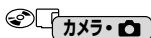
押す

● 押すたびに、点灯／消灯が切り換わります。

DC20 フラッシュを使う

フラッシュを使うと、夜景や室内など、周囲が暗い場所でも静止画をきれいに撮影できます。
さらに、夜や暗い室内などでフラッシュを使って人物を撮影したときに、目が赤く映る「赤目現象」を出にくくします（赤目緩和機能）。

ϟA オート	被写体の明るさによって、自動的に発光します。
◎ 赤目緩和オート	「オート」に加えて、撮影前、赤目緩和用にミニビデオライトが点灯します。
ϟ 強制発光	被写体の明るさに関係なく、発光します。
⊘ 発光禁止	発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所で撮影するときなどに使います。

撮影モードは、打上げ花火（SCN）以外に設定します。

カメラ・

押す
- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。「 ϟA 」のみ、約4秒後に消えます。

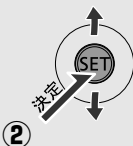
浅く押し続ける
- ピントを合わせます。

深く押す

❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1～2mです。撮影条件により、距離は変わります。
❍ 連写では、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
❍「👁」では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトの発光を見ていないと効果がありません。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
・「⚡A」と「👁」の場合、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
・ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
❍ 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを使うことをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターの影が映ります。
❍ 次の場合は、フラッシュの設定を変更できません。
・露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
・スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。
❍ スティッチアシストモードでは「👁」は選べません。
❍ **AF補助光について**
PHOTOボタンを浅く押すと、被写体の明るさによって、ピントを合いやすくするために、AF補助光としてミニビデオライトが点灯することがあります。
・AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
・レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてお使いください。

セルフタイマーを使う

カメラ・動画 / カメラ・静止画

1

①押す
- 撮影一時停止中に操作します。

②「カメラ設定」➤「セルフタイマー」➤「入」を順に選び、決定する

2

押す
- 「」の表示が出ます。

3

■動画の場合

押す
- 録画開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされます（リモコンの場合は2秒）。

■静止画の場合

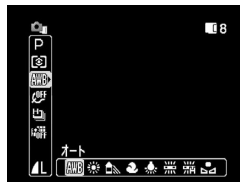
①浅く押し続ける
②深く押す
- 録画開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされます（リモコンの場合は2秒）。

セルフタイマーを解除するときは、メニューで「切」を選んでください。撮影開始までの時間が表示されているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）、PHOTOボタン（静止画のとき）を押しても解除できます。また、電源を切ると解除されます。

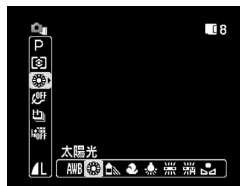
FUNC. 操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定を FUNC.（ファンクション）メニューから変更できます。
メニュー項目は、FUNC. メニューの紹介（📖 66）をご覧ください。
例：カメラ・📷「ホワイトバランス」を「太陽光」に設定する

押す

機能を選ぶ

設定内容を選ぶ

- ホワイトバランスの「セット（📖 69）」、画質効果の「カスタム（📖 71）」、デジタルエフェクトを設定する場合は、各説明ページをご覧ください。

押す

- FUNC. メニューが消えます。

- ❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色になります。
- ❍ FUNC.ボタンを押すと、FUNC. メニューはいつでも終了します。

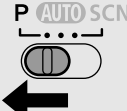
FUNC. メニューの紹介

設定できる機能は、動作モードやメディアにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖 欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
撮影モード	**P**（プログラムAE）、**Tv**（シャッター優先AE）、**Av**（絞り優先AE）	◎	○			49
	ポートレート、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火	◎	○			49
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		○			68
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	◎	○			69
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	◎	○			71
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB、スティッチアシスト		□			73 75
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、フェーダー、エフェクト、マルチ画面、カードミックス	◎				77
	D.エフェクト切、シロクロ		○			
録画モード	**XP 高画質モード**、SP 標準モード、LP 長時間モード	◎				－
静止画記録	**静止画記録切**、Sファイン/640×480、Sノーマル/640×480	◎				88
静止画サイズ／画質	DC20 **L** 1632×1224、**M** 1280×960、**S** 640×480 DC10 **L** 1280×960、**S** 640×480		○			86
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		○			

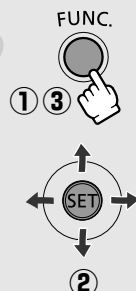
機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
画像消去	—		○*1		○	101 112
スライドショー	キャンセル、**スタート**				○	44
フォトムービー作成	—				○	108
移動	—			(ディスク)*2		99
分割	—			(ディスク)		104
消去	—			(ディスク)		101
プレイリスト追加	**全シーン**、1シーン			(ディスク)		97
コピー[(ディスク)➡(カード)]	—				(ディスク)	115
コピー[(カード)➡(ディスク)]	—				(カード)	115
画像プロテクト	切、**入**		(カード)*1		(カード)	117
プリント指定	**0**～99枚				(カード)	148
送信指定	切、**入**				(カード)	138

○　：ディスクまたはカードのとき
(ディスク)　：ディスクのときのみ
(カード)　：カードのときのみ
*1　：単写で静止画を記録した直後に、FUNC.ボタンを押して設定します
*2　：プレイリストのときのみ

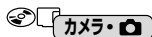
録画モード　画質や録画時間を変えます。

❍ 付属のDVD-Rの場合、本機での録画時間は以下のとおりです。
XP(高画質モード)：約20分、SP(標準モード)：約30分、LP(長時間モード)：約60分

❍ **長時間モードでは、ディスクの特性や撮影条件に影響されやすく、再生時画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影には高画質／標準モードをお使いください。**

❍ ディスクの途中で録画モードを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、撮影した時間が正しく更新されないことがあります。

❍ 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているため、記録時間は撮影環境によって変化します。

明るさの調整のしかたを選ぶ（測光）

静止画の明るさ（露出）調整のしかたを選んで撮影できます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を分割して測光します。被写体を適正な明るさにします。
中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央部のスポット測光枠（[　]）内を測光します。画面中央の被写体に明るさを合わせたいときに使います。

1

Pにする

2

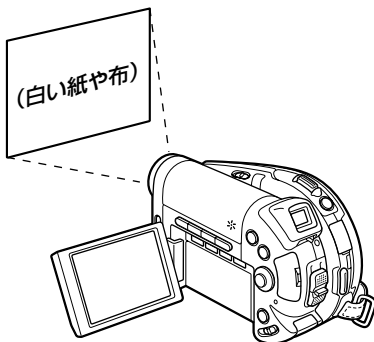
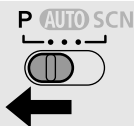
①押す
②測光マーク ➤ 設定内容を順に選ぶ
③押す

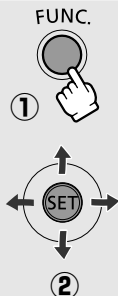
色合いを調整する（ホワイトバランス）

蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。

AWB オート	自動的に自然な色合いに調整するとき。
太陽光	晴天の屋外
日陰	日陰
くもり	曇天
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
セット	どのような光の下でも、白いものが白く写されるように調整したいとき。

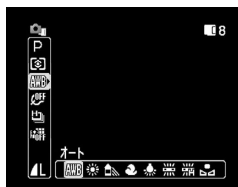
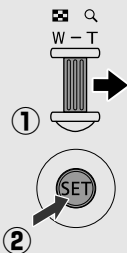
■ セットを選んだとき

カメラ・動画 / カメラ・静止画

1

Pにする

2

①押す
②ホワイトバランスマーク ➤ 設定内容を順に選ぶ

- セットの場合は、十字ボタンで「」を選び決定し、手順3へ進みます。

3 ステップアップ！● お買い上げ時の設定を変える

つづく

3

セットを選んだ場合のみ

①T側に押す

● 白い紙や布を手順3が終わるまで、画面いっぱいに写します。

②押す

● が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。

4

押す

❍ 通常の屋外では、「オート」での撮影をおすすめします。

❍ 蛍光灯の種類によっては、「蛍光灯」および「蛍光灯H」では色合いを最適にできないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「オート」または「セット」で調整してください。

❍ 一度設定したホワイトバランス「セット」は、電源を切っても憶えています。

❍ 以前設定した「セット」にしたいときは、手順2で十字ボタンで「セット」を選んだ後に、FUNC.ボタンを押します。

❍ **「セット」を行う場合**

・ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらないことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。

・ 照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。

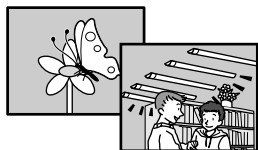
・ メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。

❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。

・ 照明条件が急に変わるとき

・ クローズアップ撮影をするとき

・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき

・ 水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

画質を効果的に処理する（画質効果）

画質を効果的に処理して撮影できます。

画質効果切	画質効果を使わないとき。	
くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調したいとき。	
すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑えたいとき。	
ソフト	輪郭の強調を抑えたいとき。	
美肌	肌をなめらかに表現して、よりきれいに見せたいとき。	
カスタム	明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さを自由に設定したいとき。	
	明るさ	（－）暗め、（＋）明るめ
	コントラスト	（－）明暗差を弱め、（＋）明暗差を強め
	シャープネス	（－）輪郭強調を控えめ、（＋）輪郭強調を強め
	色の濃さ	（－）薄め、（＋）濃いめ

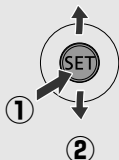
1

Pにする

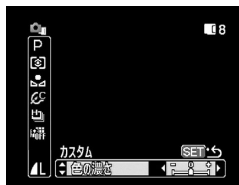
2

①押す
②画質効果マーク ➤
設定内容を順に選ぶ

3 ステップアップ！ ● お買い上げ時の設定を変える

3

■カスタムを選んだ場合

①押す

②▲/▼でカスタム機能の内容を選ぶ

③◀/▶でカスタム機能を調整し、決定する

4

FUNC.

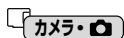
押す

「美肌」は、人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中の肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。

連写する（ドライブモード）

カードに静止画を記録するときに設定できます。

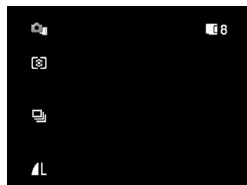
連写	PHOTOボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
高速連写	
AEB	自動的に明るさを約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。標準、暗め、明るめの順で撮影し、最適な明るさの静止画を簡単に選べます。 AEBは、Auto Exposure Bracketing（オート　エクスポージャー　ブラケッティング）の略です。
単写	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。

カメラ・

1

AUTO 以外にする

2

押す

● 押すたびに、表示が変わります。

3

浅く押す

● ピントを合わせます。

4

■連写／高速連写の場合

深く押し続ける

■AEBの場合

深く押す

❍ FUNC. メニューからも設定できます（📖 65）。
❍ FUNC. メニュー表示中は、ドライブモードボタンは使用できません。
❍ 1回の連写で記録できる最大枚数

画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		DC20 フラッシュ使用時	連続記録可能枚数
	連写	高速連写		
DC20 1632×1224	約2.5枚	約3.0枚	約2.1枚	10枚
1280×960	約3.0枚	約5.0枚	約2.5枚	10枚
640×480	約3.0枚	約5.0枚	約2.5枚	60枚

＊記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。

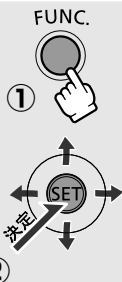
❍ 手ぶれ警告マークが出ているときは、１秒あたりの連写枚数が少なくなります。

パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

撮影した静止画を、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。

パソコンで静止画をつなぎ合わせるときは、隣の静止画にある同じ被写体を探し出して重ね合わせます。重ね合わせやすいように特徴のある被写体（目印になる被写体）を入れて撮影してください。

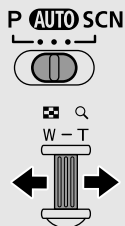
カメラ・

1

①押す
②ドライブモードマーク ➤「スティッチアシスト」を順に選び、決定する

2

押す

● 撮影方向を選びます。

3

撮影モード、ズームなどを設定する

● 露出補正やマニュアルフォーカスは、スティッチアシスト中は使えません。
● 2枚目以降の撮影では、撮影モード、ズームの設定は操作できません。

押す

● 最初の静止画を撮影します。
● 画面に撮影している方向と撮影枚数の表示が出ます。

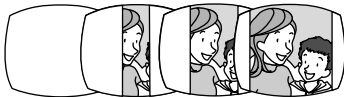
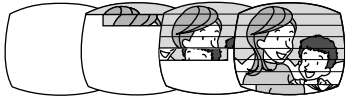
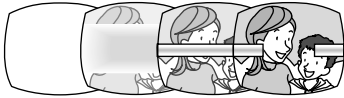
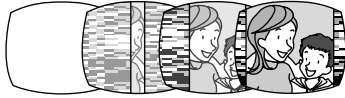
一部が重なるように、次の静止画を撮影する

● 重なる部分は多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整されます。
● 十字ボタンを◀に押すと撮影した静止画に戻りますので、撮影し直せます（左方向に撮影しているときは、十字ボタンを▶に押してください）。
● 最大26枚まで撮影できます。

■**撮影が終わったとき**

押す

● パノラマ写真の作成のしかたについては、付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

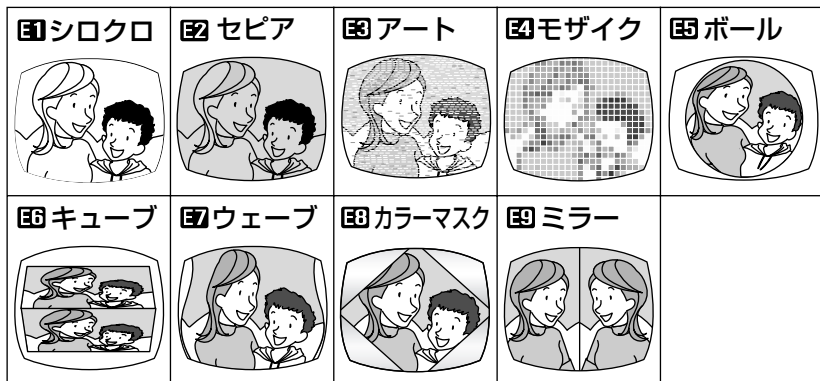
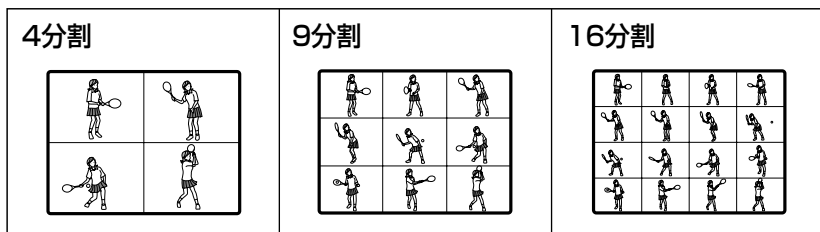
❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%～50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

デジタルエフェクト機能には、フェーダーとエフェクト、マルチ画面、カードミックスがあります。

カメラ・ のときは、エフェクトの「シロクロ」のみ設定できます。

フェーダー： テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます（ 79）。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）ーつづき

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加えることができます（ 80）。

マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（ 81）。

カードミックス：カードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成して、ディスクに記録できます（ 83）。

フェーダーの操作のしかた

フェードイン：撮影一時停止中に使う
フェードアウト：撮影中に使う

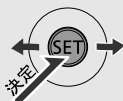
カメラ・🎥

1

AUTO 以外にする

2

①押す
②デジタルエフェクトマーク ➤「フェーダー」を順に選び、決定する

3

フェーダーの種類を選び、決定する

- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できます。

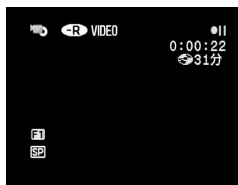
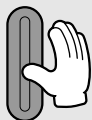
押す

つづく

押す

- 表示が緑色に変わります。

■フェーダーを解除するとき

D.エフェクトボタンをもう一度押す

撮影一時停止中/撮影中

押す

- フェードインの場合：撮影が始まり、映像と音声が徐々に出ます。
- フェードアウトの場合：映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

エフェクトの操作のしかた

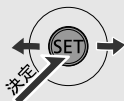
音声はそのまま記録されます。

 /

AUTO 以外にする

①押す
②デジタルエフェクトマーク ➤「エフェクト」を順に選び、決定する

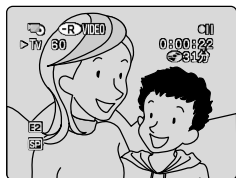
■カードに記録する場合

デジタルエフェクトアイコン ➤「シロクロ」を選び、手順3へ進む。

エフェクトの種類を選び、決定する

- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できます。

押す

押す

- 表示が緑色に変わり、画面がその効果になります。
- エフェクトを解除するときは、D.エフェクトボタンをもう一度押します。

マルチ画面の操作のしかた

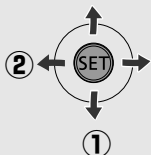
音声はそのまま記録されます。

カメラ・

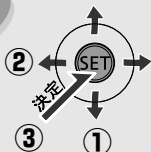
AUTO、ナイト（SCN）以外にする

①押す
②デジタルエフェクトマーク ➤「マルチ画面」を順に選び、決定する

つづく

3

①▲/▼で「画面スピード」を選ぶ
②◀/▶でスピードを選ぶ

- 取り込みスピードの目安は、次のとおりです。
  - ・マニュアル：手動で映像を取り込む
  - ・はやい：4フレームごと
  - ・ふつう：6フレームごと
  - ・おそい：8フレームごと

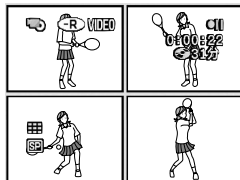
4

①▲/▼で「画面数」を選ぶ
②◀/▶で画面数を選ぶ
③決定する

5

押す

6

押す

- 表示が緑色に変わります。
- 画面スピードが「マニュアル」以外の場合：
  選んだスピードで静止画を取り込みます。取り込み完了後、D.エフェクトボタンを押すと、マルチ画面は解除されます。
- 画面スピードが「マニュアル」の場合：
  D.エフェクトボタンを押すごとに静止画を取り込みます。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消えます。D.エフェクトボタンを1秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除されていきます。

画像を合成する（カードミックス）

付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているタイトルやフレーム、アニメーションなどのサンプル画像を使って、ビデオを楽しく演出できます。

カードクロマキー

イラストやフレームとカメラの映像を合成します。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写ります。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

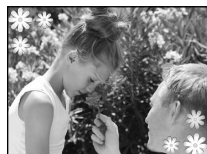
カードルミキー

イラストやタイトルなどとカメラの映像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写ります。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー

静止画とカメラの映像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体の青以外の部分が静止画の上に写ります。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

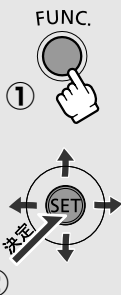
カードアニメーション

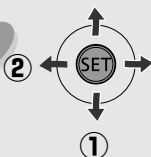
アニメーションとカメラの映像を合成します。
アニメーションの動きは、コーナー（左上と右下に表れる）／ストレート（上下に表れる）／ランダム（画面の中を動き回る）から選べます。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カメラ・

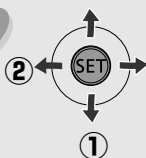
準備　付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKから、カードにサンプル画像を追加します。詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「カードにサンプル画像を追加する」をご覧ください。

1

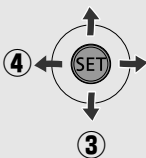
AUTO 以外にする

2

①押す
②デジタルエフェクトマーク ➤「カードミックス」を順に選び、決定する

3

①▲/▼で「画像選択」を選ぶ
②◀/▶で、カードの静止画／アニメーションの動きを選ぶ

4

①▲/▼で「ミックスタイプ」を選ぶ
②◀/▶で内容を選ぶ

■「カードアニメーション」を選んだ場合

③▲/▼で「アニメーションタイプ」を選ぶ
④◀/▶でアニメーションの動きを選ぶ

5

①▲/▼で「ミックスレベル」を選ぶ
②◀/▶で画面を見ながら調整し、決定する

6

押す

7

押す

- 表示が緑色に変わります。
- カードミックス実行中は、カードに記録できません。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「D.エフェクト切」に設定します。

❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。

画質や画像サイズを選ぶ

本機ではJPEG（ジェーペグ）圧縮で静止画を記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードやディスクに記録できる静止画の枚数は異なります。画像サイズは、高画質で記録したいときは大きい数値、枚数を多く記録したいときは小さい数値を選びます。
記録できる枚数の目安は、次のとおりです。

カードに記録できる枚数

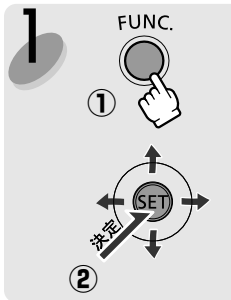
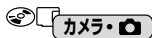
画像サイズ	画質	記録枚数		
		16MBカード	128MBカード	256MBカード
DC20 L 1632×1224	スーパーファイン	約9枚	約85枚	約175枚
	ファイン	約14枚	約135枚	約275枚
	ノーマル	約25枚	約250枚	約500枚
DC20 M 1280×960 DC10 L 1280×960	スーパーファイン	約15枚	約140枚	約280枚
	ファイン	約20枚	約215枚	約430枚
	ノーマル	約40枚	約395枚	約795枚
DC20 / DC10 S 640×480	スーパーファイン	約75枚	約690枚	約1380枚
	ファイン	約105枚	約955枚	約1900枚
	ノーマル	約170枚	約1525枚	約3040枚

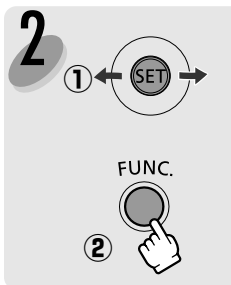
ディスクに記録できる枚数

画像サイズ	画質	記録枚数	
		DVD-R/RW（VIDEOモード）	DVD-RW（VRモード）
DC20 L 1632×1224	スーパーファイン	約1025枚	約1045枚
	ファイン	約1585枚	約1615枚
	ノーマル	約2910枚	約2960枚
DC20 M 1280×960 DC10 L 1280×960	スーパーファイン	約1630枚	約1660枚
	ファイン	約2495枚	約2540枚
	ノーマル	約4595枚	約4675枚
DC20 / DC10 S 640×480	スーパーファイン	約7945枚	約8085枚
	ファイン	9999枚	約11860枚*
	ノーマル	9999枚	約19765枚*

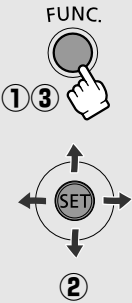
* 画面には「9999」と表示されますが、実際は表の画像数まで記録できます。

❍ カードやディスクの静止画の枚数により、パソコンに静止画を取り込めないことがあります（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上）。カードの静止画の場合は、カードリーダーをお使いください。
❍ カードやディスクに1800枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。

カメラ・

①押す
②静止画画質・画像サイズマーク ➤ 画像サイズを選び、決定する

● 右上と右下の数字は、カードやディスクに記録できる目安の枚数です。

①画質を選ぶ
②押す

ディスク撮影中にカードに記録する(ディスク/カード同時記録)

ディスクに動画を撮影中に、ディスクに記録している映像を同時にカードに静止画で記録できます。
カードに記録される静止画サイズは、640×480です。画質は選べます。

カメラ・🎥

深く押す

● 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

❍ ディスクへは静止画を同時記録できません。
❍ カメラ・📷 で、640×480の画像サイズでカードに記録するときより、画質は劣ります。
❍ デジタルエフェクト実行中は、カードに記録できません。
❍ ワイド画面で撮影しているときは、カードには記録できません。

MENU操作のしかた

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニューの紹介（📖 90）をご覧ください。
例：「おしらせ音」を「切」に設定する

押す

設定する項目を選び、決定する

3

機能を選び、決定する

4

設定内容を選び、決定する

5

押す

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、黒色になります。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

MENU メニューの紹介

設定できる機能は、動作モードやメディアにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。
各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖 欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ		再生		📖
		動画	静止画	動画	静止画	
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	◎	○			－
デジタルズーム	OFF **切**、40x 40×、200x 200×	◎				－
手ぶれ補正	ON **入**、OFF 切	◎				－
DC20 AF補助光	A **オート**、OFF 切		○			63
フォーカス優先	ON **入**、OFF 切		○			－
静止画確認時間	OFF 切、2s **2秒**、4s 4秒、6s 6秒、8s 8秒、10s 10秒		□			－
ウィンドカット	ON 入 、OFF **切**	◎				－
セルフタイマー	ON 入、OFF **切**	◎	○			64

○　：ディスクまたはカードのとき
◎　：ディスクのときのみ
□　：カードのときのみ

オートスローシャッター　暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒（◎□ カメラ・静止画 は1/15秒）までのスローシャッターになります。
- モードスイッチが AUTO または P のときに使用できます。
- ◎□ カメラ・静止画 では、フラッシュを「発光禁止」に設定します。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

デジタルズーム　デジタルズームの設定を選びます。

❍ デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
❍ デジタルズーム領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。
❍ ズーム表示は、10倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。
❍ 次の機能が設定されているときは、使用できません。
ナイト（SCN）、マルチ画面

手ぶれ補正　ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

❍ 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
❍ 暗いところで、ナイト（SCN）で撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
❍ モードスイッチがAUTOのときは、解除できません。
❍ ビデオカメラを左右に動かして撮影したいときや三脚などを使って撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フォーカス優先　PHOTOボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画を記録します。

❍ PHOTOボタンを押してすぐに静止画を記録したいときに、「切」を選びます。
❍「切」を選んだとき、AF枠は出ません。
❍ モードスイッチがAUTOのときは、解除できません。
❍ 撮影モードが打上げ花火（SCN）のとき、自動的に「切」になります。

静止画確認時間　カードに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

❍ 静止画を確認している間、または静止画記録直後にFUNC.ボタンを押すと、画像消去（□ 112）、画像プロテクト（□ 117）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

ウィンドカット　風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を低減できます。

❍ モードスイッチをAUTO以外にして、操作してください。
❍ 低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。通常は、「切」で撮影することをおすすめします。

静止画実行

機能	設定内容	カメラ 動画	カメラ 静止画	再生 動画	再生 静止画	📖
プリント指定全消去	**いいえ**、はい				カード	150
送信指定全消去	**いいえ**、はい				カード	139
画像全消去	**いいえ**、はい				○	114
カード初期化	**いいえ**、はい				カード	119
静止画全コピー カード➡ディスク	**いいえ**、はい				カード	115
静止画全コピー ディスク➡カード	**いいえ**、はい				ディスク	115
➡画像プロテクト	プロテクト設定画面へ				カード*	117
➡プリント指定	プリント指定設定画面へ				カード*	149
➡送信指定	送信指定設定画面へ				カード*	138

○ ：ディスクまたはカードのとき
ディスク ：ディスクのときのみ
カード ：カードのときのみ
＊ ：インデックス画面のとき

◎ディスク実行

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（写真）	再生（動画）	再生（写真）	📖
ディスク初期化	VIDEO、VR	◎	◎	◎	◎	110
ファイナライズ実行	**いいえ**、はい	◎	◎	◎	◎	121
ファイナライズ解除	**いいえ**、はい	◎	◎	◎	◎	123
プレイリスト全消去	–			◎*		102
動画全消去	**いいえ**、はい			◎		102
ディスクプロテクト	**いいえ**、はい			◎	◎	105
一括フォトムービー作成	**いいえ**、はい				◎	109
ディスクタイトル	**いいえ**、はい			◎		106

◎ ：ディスクのときのみ
＊ ：プレイリストのときのみ

表示設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
液晶明るさ調整	（スライダー）	ディスク	○	ディスク	○	–
液晶対面ミラー	ON 入、OFF 切	ディスク	○			–
データコード	日付、時刻、**日付＆時刻**、カメラデータ、日時＆カメラデータ			ディスク	○	48
	日付、時刻、**日付＆時刻**				○	
言語	DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、繁體中文（繁体中国語）、한국어（ハングル）、**日本語**	ディスク	○	ディスク	○	–
デモモード	ON 入、OFF 切	ディスク	○			–

○　：ディスクまたはカードのとき
ディスク　：ディスクのときのみ

液晶明るさ調整　液晶画面の明るさを調整します。

❍ 十字ボタンを◀/▶に押して調整します。
❍ ディスクやカードに記録されたり、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

液晶対面ミラー　対面撮影のときに、液晶画面上の映像や表示が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

言語　画面に表示する言語を変えます。

❍ 印刷やダイレクト転送などの設定画面で出る SET と MENU は、変わりません。

デモモード　デモンストレーション（機能紹介）をします。

❍ コンパクトパワーアダプターを使用時に、本機にディスクとカードを入れずに十字ボタンで「入」を選んで決定したとき、またはディスクとカードが入っていない状態で電源スイッチを「**カメラ**」にして5分過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。
❍ デモモードを終了するときは
いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／ディスクまたはカードを入れる

システム設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
静止画メディア選択	カード、ディスク		○		○	37
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	ディスク	○	ディスク	○	–
音量				ディスク		46
おしらせ音	大、小、OFF 切	ディスク	○	ディスク	○	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	ディスク	○			–
画像番号	オートリセット、**通し番号**	ディスク	○	ディスク		–

○　：ディスクまたはカードのとき
ディスク　：ディスクのときのみ

リモコンセンサー　リモコンセンサーを受け付け、本機を操作します。

おしらせ音　電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ　バッテリーパックを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。

画像番号　カードやディスクに記録する静止画の画像番号の付けかたを選びます。

カードやディスクに記録した静止画は、自動的に0101～9900までの画像番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。

「オートリセット」　画像番号は、101-0101から始まります。すでに、静止画が記録されているときは、その続きの番号になります。

「通し番号」　画像番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まります。画像番号の方が大きいときは、その続き番号になります。パソコンで管理するときなどに便利です。

❍ 通常は、「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
❍ 画像番号の設定は、ディスクとカード共通の設定になります。

日時設定

機能	設定内容	カメラ（動画）	カメラ（静止画）	再生（動画）	再生（静止画）	📖
エリア/サマータイム	–	(ディスク)	○	(ディスク)	○	30
日付/時刻	–	(ディスク)	○	(ディスク)	○	31
日時スタイル	Y.M.D (2005.1.1 AM12:00)、M.D,Y (JAN. 1, 2005 12:00AM)、D.M.Y (1.JAN.2005 12:00AM)	(ディスク)	○	(ディスク)	○	–

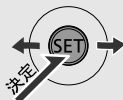
○　：ディスクまたはカードのとき
(ディスク)　：ディスクのときのみ

日時スタイル　日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

プレイリストを作成する

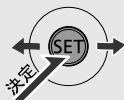
プレイリストとは、撮影したシーンを再生（プレイ）したい順に並べた一覧（リスト）のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムをつくることができます。プレイリストは、シーンの移動や消去、分割をしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。

再生・

■ 1つのシーンを追加する場合
シーンを選ぶ

押す

（プレイリスト追加）を選び、決定する

「全シーン」または「1シーン」を選び、決定する

つづく

4 編集する ● 動画

「はい」を選び、決定する

● プレイリストボタンを押すと、追加したシーンが確認できます。

■「全シーン」のとき

■「1シーン」のとき

プレイリストのシーンを移動する

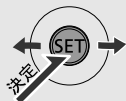
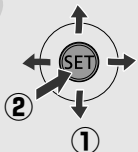
：DVD-RW、**記録方式**：VRモード

お好みの順に、プレイリスト内のシーンを並べ替えられます。

再生・動画

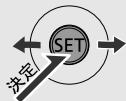
押す

移動するシーンを選ぶ

押す

（移動）を選び、決定する

①移動したい位置に、赤いバーを動かす
②押す

4 編集する ● 動画

6

「はい」を選び、決定する

シーンを消去する

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

不要になったシーンを1つ消去したり、すべてのシーンを一度に消去したりできます。記録方式がVIDEOモード（DVD-RW）の場合、撮影後のシーンのみ消去できます。オリジナルとプレイリストのシーンを消去できます。プレイリスト内のシーンを消去しても、元のオリジナルデータは消去されません。

一度消去したシーンは元に戻りません。消去する前にシーンを確認してください。

- ディスクプロテクトしているときは、シーンを消去できません。
- オリジナルの場合、5秒未満のシーンは消去できないことがあります。

再生中にシーンを1つ消去する

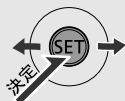
DVD-RW（VRモード）のとき、シーンを再生中に1つ消去できます。

カメラ・動画 / 再生・動画

準備　プレイリスト内のシーンを消去するときは、はじめにプレイリストボタンを押します。

消去するシーンを選ぶ

押す

つづく

（消去）➤「はい」を順に選び、決定する

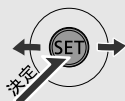
■オリジナルの場合

■プレイリストの場合

記録直後にシーンを１つ消去する

DVD-RW（VIDEOモード/VRモード）のとき、シーンを記録直後に消去できます。

（カメラ・🎥）

押す

（消去）➤「はい」を順に選び、決定する

消去中は、電源スイッチや動画/静止画切替スイッチを切り換えないでください。

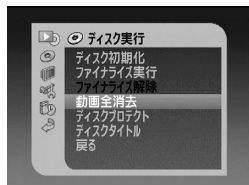
シーンを全て消去する

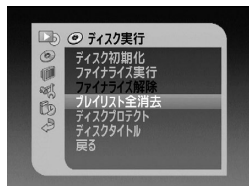
再生・

準備　プレイリスト内のシーンを消去するときは、はじめにプレイリストボタンを押します。

押す

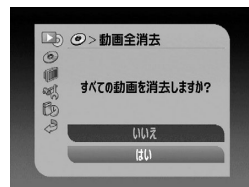
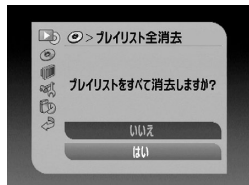
■オリジナルの場合

「ディスク実行」➤「動画全消去」を順に選び、決定する

■プレイリストの場合

「ディスク実行」➤「プレイリスト全消去」を順に選び、決定する

3

「はい」を選び、決定する

- MENUボタンを押すと、メニューが消えます。

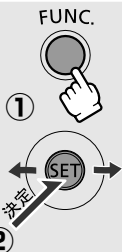
■オリジナルのとき

■プレイリストのとき

シーンを分割する

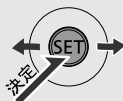
：DVD-RW、**記録方式**：VRモード

撮影したシーンを分割すると、不要なシーンを消去したりできます。オリジナルとプレイリストで、それぞれ独立してシーンを分割できます。
1枚の静止画で作成されたフォトムービーは、分割できません。

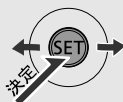
再生・🎥

準備　プレイリスト内のシーンを分割するときは、はじめにプレイリストボタンを押します。

1 分割するシーンを選ぶ

2 ①押す
②✂（分割）を選び、決定する

- 再生が始まります。

3 ✂（分割）を選び、分割する場所で、決定する

- 早送り、早戻し、スロー再生機能などを使って、好きな場所に合わせます（🕮 42）。

⏮／⏭：前または後ろのシーンの先頭へ送ります。
⏴II／II⏵：コマ送り／逆コマ送りになります。

4 「はい」を選び、決定する

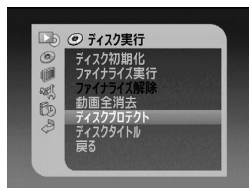
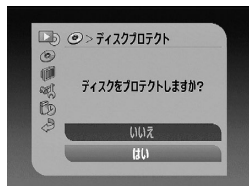
- 分割したもとのシーンの次に挿入されます。

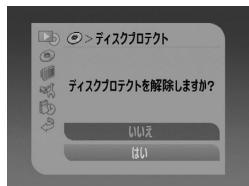
ディスクを保護する(ディスクプロテクト)

：DVD-RW、**記録方式**：VRモード

大切な画像を誤って編集や消去しないように、ディスク内の全ての画像に対して誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

ディスクプロテクト設定をしても、ディスク初期化するとすべての画像は消去されます。

1 ①押す
②「ディスク実行」➤「ディスクプロテクト」を順に選び、決定する

2 「はい」を選び、決定する

■解除するとき

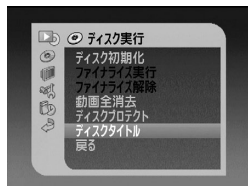
「ディスクプロテクト」➤「はい」を順に選び、決定する

ディスクに名前をつける(ディスクタイトル)

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ディスクに名前をつけられます。英数字、記号で20文字入力できます。ディスクタイトルはほとんどのDVDプレーヤーで再生するときに、テレビ画面に表示されます。

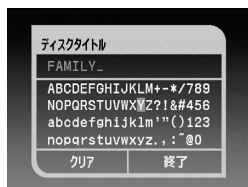
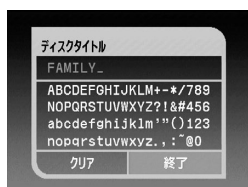
再生・

1

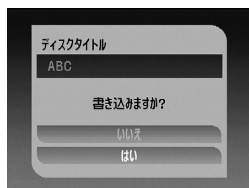
①押す
②「ディスク実行」➤「ディスクタイトル」を順に選び、決定する

2

入力する文字を選び、決定する

- 一文字消去するときは、「クリア」を選び、決定します。

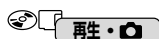
3

「終了」を選び、決定する

「はい」を選び、決定する

■ディスクタイトルを変更するとき

手順1～4の操作を繰り返す

静止画をつなげてムービーにする（フォトムービー）

ディスクまたはカードの静止画を、一つの動画ファイル（MPEG圧縮）に変換します。動画をDVDビデオ機器などで再生するときに、静止画をスライドショー（3秒ごと）として再生できます。
一括フォトムービーの場合は、カードの静止画は、はじめにディスクにコピーする必要があります。

一枚の静止画をフォトムービーにする

1

押す

2

（フォトムービー作成）➤「実行」を選び、決定する

3

押す

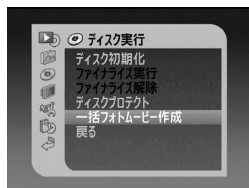
全ての静止画をフォトムービーにする

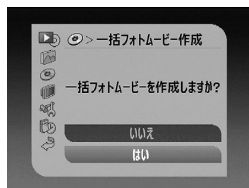
再生・📷

準備　カードの場合は、はじめにカードの静止画をディスクにコピーします（□ 115）。

1

①押す
②「ディスク実行」➤「一括フォトムービー作成」を順に選び、決定する

2

「はい」を選び、決定する

- 再生・🎥 のオリジナルにシーンとして追加されます。

❍ フォトムービー作成中に、ディスクの空き容量がなくなった場合には中断されます。
❍ フォトムービーを作成しても、もとの静止画は残ります。

ディスクを初期化する（ディスク初期化）

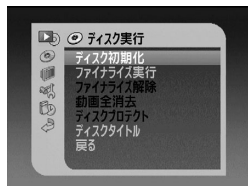
：DVD-RW、記録方式：VIDEOモード/VRモード

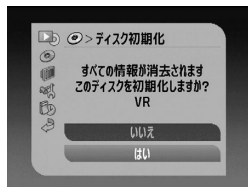
新しいディスクを使うときや、「ディスクエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、記録方式を選ぶときや、ディスクに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

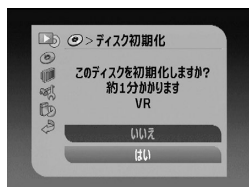
❍ 初期化を行うと、ディスクプロテクトを設定していても、すべての情報が消えます。
❍ 初期化して一度消去した画像などは、元に戻せません。
❍ 市販のDVD-RWを使用するときは、本機で初期化してください。

再生・ / 再生・

1

①押す
②「ディスク実行」➤「ディスク初期化」を順に選び、決定する

「VIDEO」または「VR」を選び、決定する

● 記録方式については、「ディスクを選ぼう！」をご覧ください。

「はい」を選び、決定する

「はい」を選び、決定する

静止画を消去する（画像消去）

：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

不要になったカードとディスクの静止画を1枚消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。

一度消去した静止画は元に戻せません。消去する前に静止画を確認してください。

ディスクをプロテクトしたり、カードの静止画をプロテクトしている場合は、静止画を消去できません。

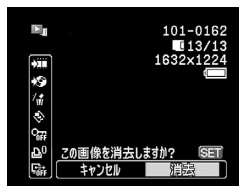
再生中に1枚消去する

ディスクの場合はDVD-RW（VRモード）のとき、静止画を再生中に1枚消去できます。

1

消去する静止画を選ぶ

2

①押す
②（画像消去）➤「消去」を順に選び、決定する
③押す

記録直後に1枚消去する

DVD-RW（VIDEOモード／VRモード）のとき、静止画を記録直後に消去できます。

押す

● 静止画を記録直後に押します。

（画像消去）➤「消去」を順に選び、決定する

再生中に静止画を全て消去する

ディスクの場合はDVD-RW（VRモード）のとき、静止画を全て消去できます。

①押す
②「静止画実行」➤「画像全消去」を順に選び、決定する

「はい」を選び、決定する

- （プロテクトした）静止画を除いた選択したメディア内のすべての静止画が消去されます。
- MENUボタンを押すと、メニューが消えます。

静止画をコピーする

 ：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ディスクに記録した静止画をカードに、カードに記録した静止画をディスクにコピーできます。

一枚の静止画をコピーする

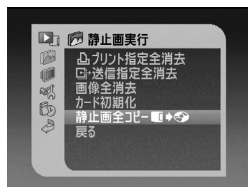
押す

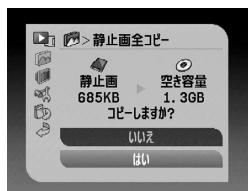
または ➤
「コピー［ ➡ ］」
または「コピー［ ➡ ］」
➤「実行」を選び、決定する

押す

全ての静止画をコピーする

押す

「静止画実行」➤「静止画全コピー ➡ 」または「静止画全コピー ➡ 」を順に選び、決定する

「はい」を選び、決定する

- 静止画容量とコピー先の空き容量が表示されます。

- ❍ 他機で記録した静止画は、コピーされないことがあります。
- ❍ コピー先の空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。
- ❍ コピーする静止画の枚数が多いと、時間がかかる場合があります。

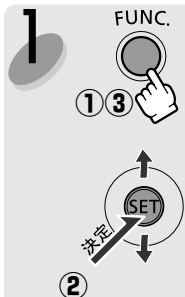
カードの静止画を保護する（画像プロテクト）

カード内の大切な静止画を誤って消去しないように、誤消去防止（画像プロテクト）の設定ができます。

画像プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消去されます。

設定のしかた

カメラ・📷 / 再生・📷

1

①押す
②「⚷（画像プロテクト）」➤「入」を順に選び、決定する
③押す

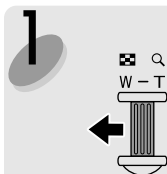
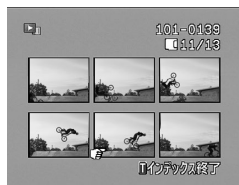
- 静止画を確認している間、または静止画記録直後にFUNC.ボタンを押して、②の操作で設定できます。
- 設定を解除するときは②で「切」を選びます。

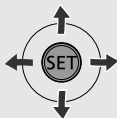
インデックス画面を使う

再生・📷

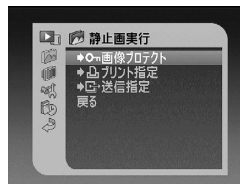
1

W側に押す

つづく▶

4 編集する ● 静止画

カードの静止画を保護する（画像プロテクト）ーつづき

静止画を選ぶ

3

①押す
②「静止画実行」➤「➡🔑画像プロテクト」を順に選び、決定する

押す

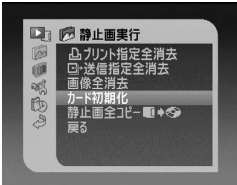
- もう一度押すと、解除できます。
- ▲/▼/◀/▶に押すと、他の画像を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

カードを初期化する（カード初期化）

カード初期化は、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、カードに記録した静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。

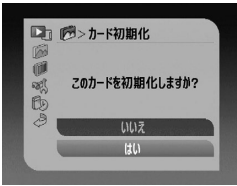
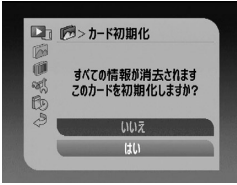
❍ カード初期化を行うと、プロテクト設定した静止画まで、すべての情報が消えます。
❍ カード初期化して一度消去した静止画などは、元に戻せません。
❍ カードを使用するときは、本機でカード初期化してください。

再生・📷

1

①押す
②「静止画実行」➤「カード初期化」を順に選び、決定する

2

「はい」を選び、決定する

3

「はい」を選び、決定する

- カード初期化され、すべての情報が消去されます。
- MENUボタンを押すと、メニューが消えます。

見るための処理をする（ファイナライズ）

：DVD-R/RW、**記録方式**：VIDEOモード/VRモード

ディスクの画像を、DVDプレーヤーなどの他の機器で再生できるようにする処理（ファイナライズ）を行います。

- ❍ 必ずコンパクトパワーアダプターにつないでください。バッテリーパックのみではファイナライズできません。
- ❍ ファイナライズ中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズされず、ディスクのデータが破損します。
- ❍ ファイナライズを行うと、ディスクの種類や記録モードによって、追加の記録やディスク初期化に制限が出ます。
- ❍ 本機で撮影したディスク以外はファイナライズしないでください。

- ❍ DVD-RW（VIDEOモード）の場合はファイナライズを解除できます。ファイナライズ解除はメニューから行ってください（📖 123）。
- ❍ DVD-Rの場合は、ファイナライズすると追加記録ができません。
- ❍ ファイナライズにかかる時間は、ディスクの空き容量や記録の状態によって異なります。
- ❍ ファイナライズは、メニューで「ディスク実行」➤「ファイナライズ実行」を順に選んでも、実行できます。

ファイナライズ後にできる操作は次のとおりです。

	追加の記録	編集	ディスク初期化
DVD-R（VIDEOモード）	×	×	×
DVD-RW（VIDEOモード）	×	×	○
DVD-RW（VRモード）	○	○	○

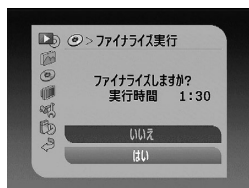
カメラ・ / 再生・ / カメラ・ / 再生・

押す

「はい」を選び、決定する

- ファイナライズするための、残り時間が表示されます。

3

押す

- 画面に「Ⓕ」の表示が出ます。

他機でディスクを再生する

再生するための処理（ファイナライズ）をしたディスクの動画や静止画を、DVD-RまたはDVD-RWに対応したDVDプレーヤーやパソコンなどで再生します。
詳しくは、DVDプレーヤーやパソコンなどの説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーやパソコンなどで再生する

■**DVDプレーヤーの場合**

テレビとビデオの電源を入れる

■**パソコンの場合**

起動する

■**DVDプレーヤーの場合**

ファイナライズしたディスクを入れる

■**パソコンの場合**

ファイナライズしたディスクをDVDドライブに入れる

再生する

- パソコンで静止画を見るときは、DVD再生ソフトウェアは使用しないので、ソフトウェアが起動したら終了してください。

パソコンで再生する場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。

- ❍ VRモードで撮影した場合、DVD-RWのVRモードに対応した機器でのみ再生できます。
- ❍ お使いの機器によっては、ディスクを再生できない場合があります。
- ❍ 静止画をDVDプレーヤーで再生するためには、フォトムービーを作成する必要があります（📖 108）。
- ❍ フォトムービーは、解像度が下がるため、きれいに再生されないことがあります。

処理をした後に追加記録する（ファイナライズ解除）

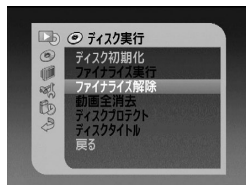
：DVD-RW、**記録方式**：VIDEOモード

ファイナライズを解除することで、もう一度追加で記録できます。VRモードでDVD-RWに記録した場合は、ファイナライズ解除を行わずに、再度記録できます。DVD-Rの場合は、解除できません。

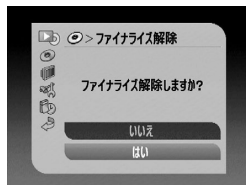
❍ 必ずコンパクトパワーアダプターにつないでください。
❍ ファイナライズ解除中は、コンパクトパワーアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズ解除されず、ディスクのデータが破損します。
❍ 本機でファイナライズしたディスク以外は、ファイナライズ解除できません。

カメラ・ / 再生・ / カメラ・ / 再生・

1

①押す
②「ディスク実行」➤「ファイナライズ解除」を順に選び、決定する

「はい」を選び、決定する
- 残り時間が表示されます。

3

押す

テレビで見る

接続のしかた

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

信号の流れ

S(S1)-映像/音声端子付き
テレビ/ビデオ機器

映像/音声端子付き
テレビ/ビデオ機器

入力

マルチケーブル
MTC-100
(付属)

S(S1)-
映像

映像

L

音声

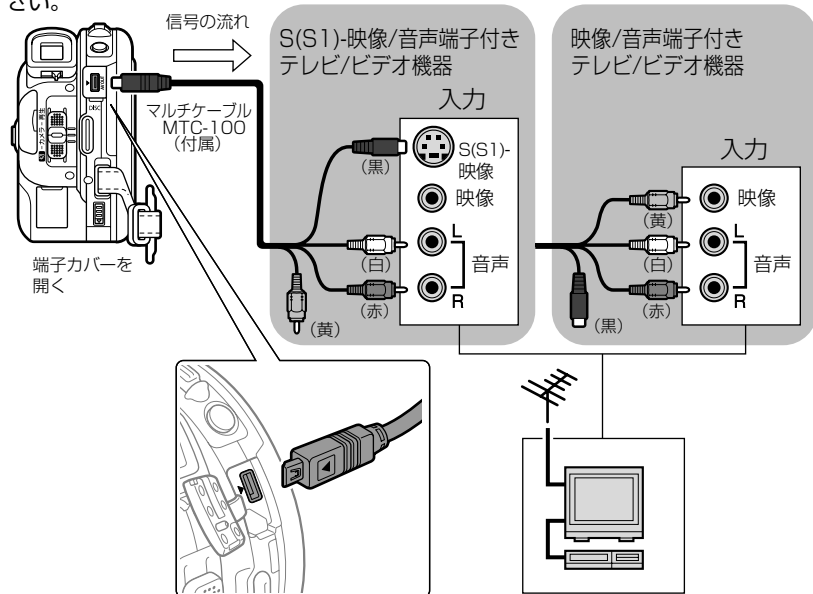
R

(黒)

(白)

(赤)

(黄)

端子カバーを
開く

操作のしかた

テレビ/ビデオ機器の電源を入れる

- テレビ：テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にします。
- ビデオ機器：入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にします。

動画（シーン）を再生する（□41）
静止画を再生する（□43）

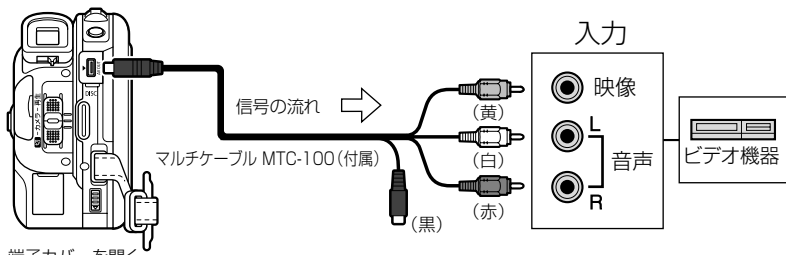
- ❍ 本機を家庭用コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- ❍ ディスクの画像をS(S 1)-映像端子付きのテレビに接続してご覧になると、DVD方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機を再生機として、ビデオ機器を録画機として使うことで、本機でディスクに記録した動画やフォトムービーをダビング編集できます。

接続のしかた

映像/音声端子付き／S（S1）-映像端子付きビデオ機器へ録画する

S-映像端子付きビデオ機器と接続することもできます（📖 124）。

本機を家庭用コンセントにつないで使うことをおすすめします。

操作のしかた

再生・🎥

1

本機

再生するディスクを入れる

2

録画機

録画一時停止状態にする

つづく ▶

本機

▲/▼/◀/▶で、再生を始めるシーンを探す

本機

押す

- 再生が始まります。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できます。ディスプレイボタンを押すたびに、表示が入/切されます（🕮 48）。

5

録画機

録画を開始する場面で、録画を始める

6

録画機

録画を終える

7

本機

押す

- 再生が終わります。

ディスクの画像を取り込む(Roxio MyDVD for Canon)

Windowsでのみ、付属のRoxio MyDVD for Canonを使って、ディスクに記録した動画および静止画をパソコンへ取り込めます。また、取り込んだ動画の簡単な編集や自分だけのDVD作成ができます。
詳しくは、MyDVD for Canonのヘルプまたはチュートリアルをご覧ください。
MyDVD for Canonでできることは、次のとおりです。

ワンタッチダビング（Windows XPのみ）	パソコンのDVD記録ドライブに未使用のディスクをセットし、点灯した本機の🖨〜ボタンを押すだけで、ディスクのコピーが行えます。
画像の取り込み	ファイナライズしていないディスクの画像もパソコンに取り込めます。
バックアップDVDの作成	パソコンの画面から操作して、本機でディスクの画像を別のディスクへコピーできます。パソコンに書込み可能なドライブがない場合は、DC20/DC10を使ってコピーを行えます。

動作環境

・ Microsoft Windows 2000、ME、XP
・ Microsoft Windows Media Player 9 以降
・ CPU：Pentium III 1 GHz 以上（1.5GHz 以上を推奨）
・ メモリー：128 MB RAM (256 MB を推奨)
・ 最低 10 GB のハードディスク空き容量（20 GB 以上を推奨）
・ モニター：1024 X 768 ドット、16 ビットカラー以上のビデオカード及びモニター
・ インターネット接続環境（MyDVD のユーザー登録に必要）

❍ **MyDVD for Canonのインストールをするとき**
MyDVD for Canonをインストールした後、初回起動時に必ずユーザー登録を行ってください。ユーザー登録を行わないとご使用になれません。ユーザー登録には、インターネット環境に接続されている必要があります。

❍ **お問い合わせ先**
キヤノン株式会社/キヤノン販売株式会社では、MyDVDに関する問い合わせを承っておりません。裏表紙に記載されているソニック・ソルーションズ　サポートセンターにお問い合わせください。

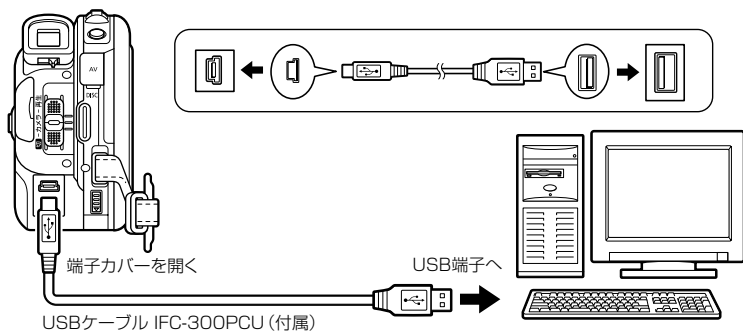
❍ ケーブルは、正しい向きで接続してください。

❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。

❍ MyDVD for Canonの機能を使って作成されたディスクは、ファイナライズ解除できません。

❍ インターネットの接続環境によっては、ユーザー登録に時間がかかる場合があります。

準備する

（再生・）

パソコンを起動する

Roxio MyDVD for Canonを、パソコンのCD-ROMドライブまたはDVDドライブに入れる

- インストール画面が自動的に表示されます。
- パソコンの画面に表示される指示に従って、進めてください。
- インストールが完了したら、MyDVD for Canonをパソコンから取り出してください。

本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

「再生」にする

「」にする

付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

❍ **インストール画面が自動で表示されないとき**

①[マイ コンピュータ]を選ぶ

・Windows 2000、Me：デスクトップの[マイ コンピュータ]をダブルクリックして開きます。

・Windows XP：[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]を選びます。

②CD-ROM/DVDアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[開く]を選ぶ

③[SET UP .exe]をダブルクリックする

・お使いのパソコンにより、「.exe」という拡張子が表示されないことがあります。

❍ パソコンに入れるディスクは、内容を消去したDVD-RWも使用できます。内容を消去するにはDVDライティングソフトが必要です。

❍ 以下の操作を本機で行う場合は、パソコンやプリンターにつないでも認識されません。

・シーンを全消去するとき
・ディスクをプロテクトするとき
・ディスクタイトルを入力するとき
・送信指定を全消去するとき
・プリント指定を全消去するとき
・カード/ディスクの静止画を全消去するとき
・静止画をカード/ディスク間で全コピーするとき
・ディスクを初期化するとき
・ファイナライズを実行/解除するとき

ワンタッチダビング

パソコンに、DVD-R/RWへ書き込み可能なドライブが必要です。

再生・🎥

本機にファイナライズ済みのディスクを入れる

パソコンのDVDドライブに未使用のDVD-R/RWを入れる

● ボタンが点灯します。

● VRモード（記録方式）で記録したDVD-RWをコピーする場合は、パソコンにDVD-RWを入れてください。

押す

- コピー中は[ボタン]ボタンが点滅し、完了すると消灯します。
- コピーされたディスクは、自動的にファイナライズされ、排出されます。

❍ 事前にMyDVD for Canonを起動して、ユーザー登録を行ってください。
❍ 1台のパソコンに複数のDC20やDC10を接続してワンタッチダビングする場合の動作は保証していません。

❍ **コピーが中断されたとき**
- 「中断されました」が本機の画面に表示されます。
- 本機からディスクを出したり、MyDVD for Canonを起動すると「中断されました」の表示は消えます。

❍ 本機のディスク動作ランプが点滅しているときは、データを破壊することがありますので、次のことを必ず守ってください。
- 本機に振動を与えない。
- ディスクカバーを開けたり、ディスクを出したりしない。
- USBケーブルを絶対に抜かない。
- 本機やパソコンの電源を切らない。
- 動画/静止画切換スイッチを切り換えない。

❍ パソコンで再生する場合、DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。
❍ 本機を家庭用コンセントにつないで使うことをおすすめします。
❍ パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
❍ MyDVDの制限事項に関しては、MyDVD for Canonのヘルプ内の「README」をご覧ください。
❍ MyDVD for Canonでは、VRモードで長時間モード（LP）に設定されているときにワイド画面で撮影したシーンを正しく取り込めません。
❍ ワンタッチダビングするとき、ディスクの状態によっては時間がかかる場合があります。
❍ インターネットの接続環境によっては、ユーザー登録に時間がかかる場合があります。
❍ 手順2で[ボタン]ボタンが点灯しない場合は、パソコンのデスクトップのツールバーに[アイコン]アイコンが表示されているかご確認ください。[アイコン]アイコンが表示されていない場合はワンタッチダビングできません。本機とパソコンからUSBケーブルを抜いて、パソコンを再起動してください。本機の電源を入れ直してから、再度本機をパソコンにつないでください。

画像の取り込み

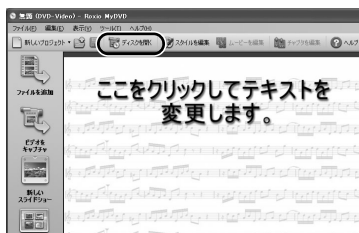
再生・🎥

1 本機にファイナライズ済みのディスクを入れる

● ファイナライズ済みディスク、ファイナライズしていないディスクの両方が使えます。

2 MyDVD for Canonを起動する

3 [DVD-Video]をクリックする

4 [ディスクを開く]をクリックする

5 [インポート]をクリックする

● MyDVDの編集画面に、画像が表示されます。

6 [プロジェクトを保存]をクリックする

● パソコンに、編集画面に表示された画像が保存されます。

MyDVD for Canonでは、VRモードで長時間モード（LP）に設定されているときにワイド画面で撮影したシーンを取り込めません。

バックアップDVDの作成

再生・

本機にファイナライズ済みのディスクを入れる

MyDVD for Canonを起動する

3

[DVDのバックアップを作成]をクリックする

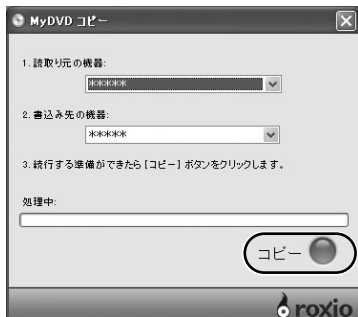
4

[読取り元の機器]に[CANON DC20]/[CANON DC10]を選ぶ

[書込み先の機器]に書き込み可能なDVDドライブを選ぶ

- 書き込み先に[CANON DC20]/[CANON DC10]以外のDVDドライブを選んだ場合、書き込み先のDVDドライブに未使用のDVD-R/RWを入れてください。
- パソコンに書き込み可能なドライブがない場合は、[CANON DC20]/[CANON DC10]を選びます。

[コピー]をクリックする

- コピーが始まります。

パソコンの画面に表示される指示に従って進めてください。

[OK]をクリックする

● コピーされたディスクは、自動的に排出されます。

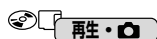
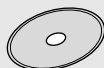
❍ 必ず、本機をパソコンにつないだ後に、未使用のディスクを本機またはパソコンに入れてください。

❍ パソコンの画面に「ブランクDVDまたはリライタブルDVDをDVDドライブに挿入してください。」が表示され、手順5で選んだDVDドライブとは異なるDVDドライブが排出されたときは、［キャンセル］をクリックします。もう一度手順6から操作し直してください。記録済みディスクがDVD-RWの場合はディスクに記録された画像が消去される場合があります。

静止画を取り込む（ダイレクト転送）

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、🖶〜（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単にディスクやカードに記録した静止画をパソコンに転送できます。

準備する

初めてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

- 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。

2 付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

- 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。

3 自動起動を設定する

- 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「CameraWindowを起動する」をご覧ください。
- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、🖶〜ボタンが点灯します。

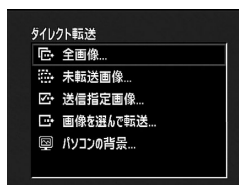
❍ 他機で使用したディスクを、本機に入れて、パソコンやプリンターにつなぐ場合の動作は保証していません。
❍ ビデオカメラのディスクおよびカード動作ランプが点滅しているときは、データを破壊することがありますので、次のことを必ず守ってください。
・本機に振動を与えない。
・カード/ディスクカバーを開けたり、カードやディスクを出したりしない。
・USBケーブルを絶対に抜かない。
・本機やパソコンの電源を切らない。
・動画/静止画切換スイッチを切り換えない。
❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
❍ カードやディスク内、およびカードやディスクからハードディスクに保存した静止画のファイルをパソコンで操作するときは、必ずファイルをコピーし、コピーした静止画を使用してください。
❍ 以下の操作を本機で行う場合は、パソコンやプリンターにつないでも認識されません。
・シーンを全消去するとき
・ディスクをプロテクトするとき
・ディスクタイトルを入力するとき
・送信指定を全消去するとき
・プリント指定を全消去するとき
・カード/ディスクの静止画を全消去するとき
・静止画をカード/ディスク間で全コピーするとき
・ディスクを初期化するとき
・ファイナライズを実行/解除するとき

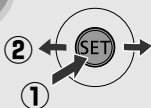
❍ 本機を家庭用コンセントにつないで使うことをおすすめします。
❍ パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
❍ Windows XPとMac OS Xをお使いの場合
本機は、PTP（Picture Transfer Protocol）に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。

画像を転送する

全画像…	カードに記録したすべての画像を転送する
未転送画像…	まだ転送していない画像を転送する
送信指定画像…	送信設定した画像を転送する（カードの静止画のみ送信指定できます）
画像を選んで転送…	画像を選んで転送する
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像を転送する

送信指定画像を転送するときはあらかじめ、送信指定しておきます（□ 138)。

転送方法を選ぶ

押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された画像がパソコンの画面に現れます。
  転送を中止するときは、十字ボタン（キャンセル）を押すか、MENUボタンを押します。

■画像を選んで転送、パソコンの背景の場合

①押す
②◀/▶で画像を選ぶ
③押す

- 画像を選んで転送：転送された画像がパソコンの画面に現れます。
  次に転送する画像を十字ボタンで選べます。
- パソコンの背景：転送された画像がパソコンのデスクトップに現れます。
- 転送中は ボタンが点滅します。
- MENUボタンを押すと、前の画面に戻ります。

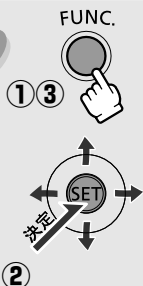
- ❍ ボタンの代わりに十字ボタンを押しても、画像を転送できます。「全画像」「未転送画像」「送信指定画像」を選んで決定したときは、確認画面が出ます。十字ボタンで「OK」を選び、決定します。
- ❍ ビデオカメラとパソコンをつないだときに、画像を選ぶ画面が出た場合は、MENUボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。
- ❍ ディスクの静止画は正しく転送されても、本機では転送済み画像として認識されず「未転送画像」の表示は消えません。

送信指定する

カードに記録した静止画の中から、パソコンに転送する静止画を指定できます（最大998枚）。ディスクの静止画は送信指定できません。本機はDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）の機能の1つである送信指定に対応しています。
本機にUSBケーブルを接続せずに、操作をしてください。

設定のしかた

再生・📷

1

①押す
②（送信指定）➤「入」を順に選び、決定する
③押す

- 設定を解除するときは②で「切」を選びます。

インデックス画面での設定のしかた

再生・📷

1

W側に押す

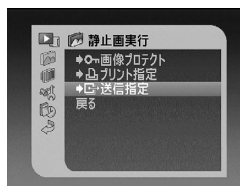
2

▲/▼/◀/▶で静止画を選ぶ

- 「☞」を再生したい静止画に合わせます。
- インデックス画面＋／－ボタンで画面を切り換えられます。

つづく

3

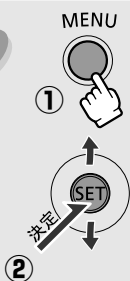
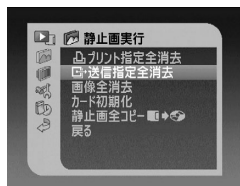
①押す
②「静止画実行」➤「➡ 送信指定」を順に選び、決定する

4

押す

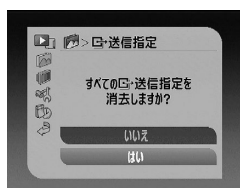
- 送信指定されます。
- もう一度押すと、設定は解除されます。
- 十字ボタンを◀/▶に押すと、他の静止画を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

すべての送信指定を消去する

再生・

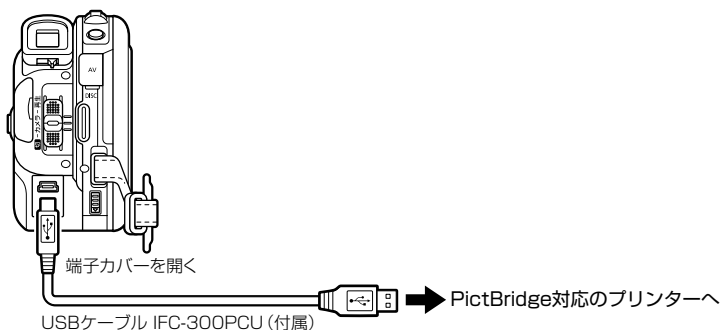
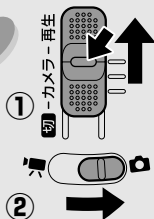
1

■インデックス画面の場合
ズームレバーをT側に押す
①押す
②「静止画実行」➤「 送信指定全消去」を順に選び、決定する

2

「はい」を選び、決定する

- MENUボタンを押すと、メニューが消えます。

静止画を印刷する

別売のPictBridge対応のプリンターをつなぐと、パソコンを使用することなくカードやディスクに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。また、カードの静止画の場合、プリント指定による連続印刷ができます（148）。
本機で使用できるプリンターは、次のとおりです。

キヤノン製プリンター	PictBridge対応SELPHY CPシリーズ／PIXUSシリーズ／SELPHY DSシリーズ	PictBridge
キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター		

PictBridge対応のプリンターとつなぐ

1

本機

①「再生」にする
②「📷」にする

2

本機

静止画を記録したカードまたはディスクを入れる

3

プリンター

電源を入れる

付属のUSBケーブルで本機とプリンターをつなぐ

- 本機の画面に が点滅した後、 の表示が出ます。

  本機で再生できない静止画のときには、表示は出ません。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出ます。

❍ 本機とプリンターをつないだときに、 が点滅し続ける（約1分以上）場合、または が表示されない場合、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してから接続ケーブルをつないでください。

❍ 以下の操作を本機で行う場合は、パソコンやプリンターにつないでも認識されません。

・シーンを全消去するとき
・ディスクをプロテクトするとき
・ディスクタイトルを入力するとき
・送信指定を全消去するとき
・プリント指定を全消去するとき
・カード/ディスクの静止画を全消去するとき
・静止画をカード/ディスク間で全コピーするとき
・ディスクを初期化するとき
・ファイナライズを実行/解除するとき

❍ 印刷できない静止画のときは、「 」の表示が出ます。
❍ 接続ケーブルについては、プリンターの説明書をご覧ください。
❍ 本機を家庭用コンセントにつないで使うことをおすすめします。
❍ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
❍ 印刷関連の画面のイラストは、接続しているプリンターによって異なります。

(イージーダイレクト)ボタンを使って印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、ボタンを押すだけで印刷できます。

静止画再生中(1枚)

印刷する静止画を選ぶ

押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 印刷中はボタンが点滅し、終了すると点灯します。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、十字ボタンで静止画を選んでください。

印刷設定を選んで印刷する

印刷枚数やペーパーサイズなどの印刷設定を選んで印刷できます。印刷設定の内容は、接続するプリンターによって異なります。

押す

- 印刷設定画面が出ます。
- プリンターによっては、「処理中…」の表示が出た後に、印刷設定画面が出ます。

印刷設定を選ぶ(144)

「プリント」を選び、決定する

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、十字ボタンで静止画を選んでください。

- ❍ 次のような場合、静止画がPictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
  - ・ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
  - ・ 本機で記録したカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
  - ・ カードの静止画のファイル名を変更したとき
  - ・ 上記のカードの静止画をディスクにコピーしたとき
  - ・ 本機以外の製品で静止画を記録したカードおよびディスクを本機に入れたとき
- ❍ 印刷中に、次の操作はしないでください。
  - ・ 動画/静止画切換スイッチを切り換える
  - ・ 本機、プリンターの電源を切る
  - ・ 本機とプリンターから接続ケーブルを抜く
  - ・ カード／ディスクカバーを開けたり、カードやディスクをビデオカメラから取り出す
- ❍ 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中...」が長時間表示される場合、接続ケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

❍ **印刷を中止するとき**

印刷中に十字ボタンを押します。確認画面が出ますので、十字ボタンで「OK」を選び、決定します。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合は、印刷が中断され印刷中のペーパーが排紙されます。

❍ **印刷中に異常が発生したとき**

「インクがありません」、「ペーパーが詰まりました」、「ペーパーがありません」などのお知らせ表示（📖 162）が本機の画面に出ます。

- ・ キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合：お知らせ表示の内容を解決します。印刷が自動で再開されないときは、十字ボタンで［続行］を選んで決定してください。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んで決定し、印刷し直してください。プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。

① 接続ケーブルを抜く
② 本機の電源スイッチを一度「切」にしてから「再生」にする
③ 接続ケーブルをつなぐ

❍ **印刷が終了したら**

① 接続ケーブルをビデオカメラとプリンターから抜く
② 本機の電源を切る

印刷設定を選ぶ

印刷枚数を選ぶ

印刷設定画面

（印刷枚数）を選び、決定する

印刷枚数を選び、決定する

印刷設定の選びかた

ペーパー設定	ペーパーサイズ	プリンターによって異なります。
	ペーパータイプ	フォト、高級フォト、標準設定
	レイアウト	フチなし、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。
- 「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。

❍「レイアウト」で「＊＊面配置」を選ぶとき

2/4/9/16面配置 ：「ペーパーサイズ」で「はがき」または「L判」を選びます。キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズの場合は、専用のシール紙に印刷できます。

8面配置 ：「ペーパーサイズ」で「カード」を選びます。キヤノン製プリンター　SELPHY CPシリーズの場合は、専用のシール紙に印刷できます。

ペーパー設定を選ぶ（ペーパーサイズ、ペーパータイプ、レイアウト）

1

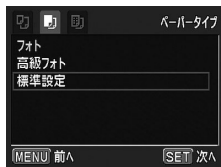
印刷設定画面

「ペーパー設定」を選び、決定する

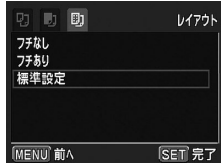
2

使用するペーパーサイズを選び、決定する

3

使用するペーパータイプを選び、決定する

4

レイアウトの設定を選び、決定する

レイアウト
フチなし
フチあり
標準設定
MENU 前へ
SET 完了

日付を印刷する

印刷設定画面

⏲（日付印刷）を選び、決定する

日付印刷の設定を選び、決定する

画像を自動補正する（画像補正）

画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターで、画像補正をして印刷したいときに設定します。

印刷設定画面

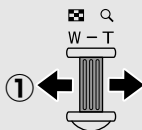
（画像補正）を選び、決定する

画像補正の設定を選び、決定する

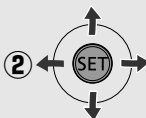
印刷領域を選ぶ（トリミング）

スタイルやペーパー設定などの印刷設定を行った後に、トリミングを設定します。

印刷設定画面

「トリミング」を選び、決定する

①W/T側に動かす

- 画面に表示される枠内が、印刷されます。
- ズームレバーをW側に動かすと、枠は大きくなります。T側に動かすと、枠は小さくなります。

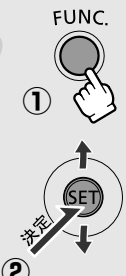
- 枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に動かすと、枠は消えて、トリミングは解除されます。MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

②▲/▼/◀/▶に押す

- 枠が移動します。
- MENUボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

❍ 枠の色について
枠は、2色あります。トリミングするときの目安にしてください。
白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）
緑：推奨する印刷領域です。画像サイズやペーパーサイズ、フチの設定によっては出ないことがあります。

❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、次の操作をすると解除されます。
・本機の電源を切る
・接続ケーブルを抜く
・トリミングの枠を、最大より大きくする

プリント指定して印刷する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。ディスクの静止画はプリント指定できません。本機は印刷規格のDPOF（ディーポフ Digital Print Order Format）に対応しています。本機で使用できるプリンター（ 140）で自動印刷できます。 プリント指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

①-1 設定のしかた

本機にUSBケーブルをつなげずに、操作をしてください。

再生・

1

①押す
②プリント指定マークを選び、決定する

2

①枚数（1枚以上）を選び、決定する
②押す
- プリント指定を消去するときは、枚数を「0」にします。

①-2　インデックス画面での設定のしかた

再生・📷

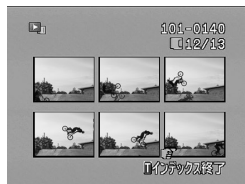
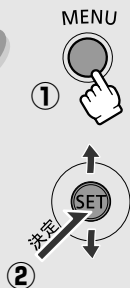
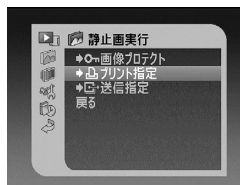
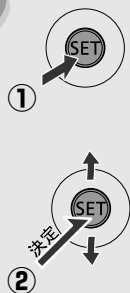
1

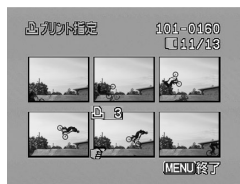
W側に押す

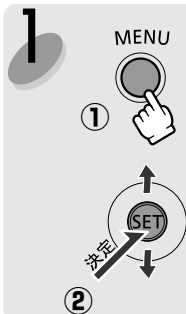
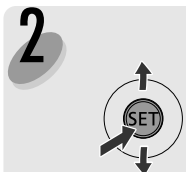
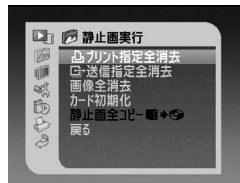
- インデックス画面になります。

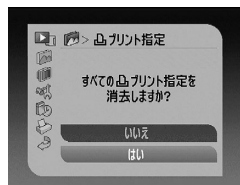
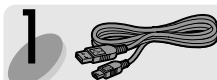
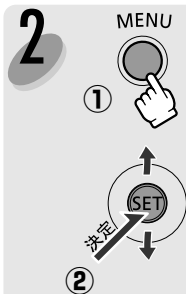
印刷する静止画を選ぶ

①押す
②「静止画実行」➤「➡ プリント指定」を順に選び、決定する

①押す
②枚数を選び、決定する

- プリント指定されて次の静止画を選べます。
- ズームレバーをW側に押すと、1枚ごとの再生画面に戻ります。

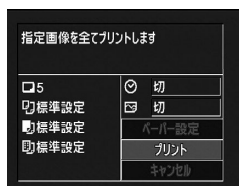
- プリント指定を消去するときは、枚数を「0」にします。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

①-3　すべての🖶プリント指定を消去する

再生・📷

1 ①押す
②「静止画実行」➤「プリント指定全消去」を順に選び、決定する

2 「はい」を選び、押す

- すべての🖶プリント指定が消去されます。
- MENUボタンを押すと、メニューが消えます。

②　印刷する

1 本機とプリンターをつなぐ（📖 140）

2 ①押す
②「➡🖶プリント」を選び、決定する

- 🖶印刷設定画面が出ます。
- 🖶プリント指定をしていないときは、「🖶プリント指定が必要です」が出ます。
- 🖶プリント指定による全印刷枚数が表示されます。

「プリント」を選び、決定する

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。

❍ 接続するプリンターによっては、手順3の前に、スタイルやペーパー設定などの印刷設定ができます（ 144）。

❍ **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき（ 143）**

❍ **印刷を再開するとき**

・ MENUボタンを押し、「➡ プリント」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選び、決定すると、残りの静止画が印刷できます。

・ 次の場合は印刷は再開できません。
再開する前に プリント指定を変更した場合
再開する前に プリント指定をした静止画を削除した場合

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器につないでいるときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない。	• バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。 • バッテリーパックを正しく装着し直してください。	23
電源	途中で電源が切れる。	• バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。 • 何も操作をしない状態が5分以上続きました。もう一度電源を入れてください。	23 36
電源	画面がついたり消えたりを繰り返す。	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。	23
電源	バッテリーパックが充電できない。	• 0℃～40℃の温度で充電してください。 • バッテリーパックを使用直後、バッテリーパックの温度が高くなり、充電温度範囲外になっています。バッテリーパックをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始してください。 • バッテリーパックが故障しています。別のバッテリーパックをお使いください。	23
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない。	• 電源を入れてください。 • ディスクを入れてください。	35 33
撮影・再生	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	• 本機はマイコンを使用した機器です。外部からのノイズや静電気などにより画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。 • 電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作してください。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押してください。すべての設定が解除されます。	–

こんなときは		どうするの？	📖
撮影・再生	画面で「⌀」が点滅する。	ディスクを入れてください。	33
	画面で「▭」が点滅する。	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。	23
	リモコンが動作しない。	• メニューで「リモコンセンサー」を「入」にしてください。 • リモコンの電池が消耗しました。新しい電池と交換してください。	89 28
	画面にノイズが出る。	プラズマテレビの近くで本機を使っているときは、テレビから離してください。	–
	テレビの放送画面にノイズが出る。	テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離してください。	–
	ディスクが入っていない状態でディスクカバーを閉めると、モーター音が聞こえる。	ディスクが入っているか確認しているためで、故障ではありません。	–
	ディスクが取り出せない。	• 電源を切ってから、コンパクトパワーアダプターやバッテリーパックを取り付け直してください。 • 本機が高温になっています。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし、本機を冷ましてから操作してください。	23
	ディスク認識が終了しない。	ディスクにゴミや汚れがあります。市販の眼鏡クリーナー（布製）などの柔らかい布で拭きとってください。改善されない場合は、新しいディスクに交換してください。	169
	本機が振動する	ディスクの状態によっては本機が振動することがあります。故障ではありません。	–
	本機から小さな音が聞こえる	ディスクを定期的に動作させている音です。故障ではありません。	–
	一定の間隔で本機から動作音がする	ディスクを定期的に動作させている音です。故障ではありません。	–

	こんなときは		どうするの？	📖
撮影・再生	長時間使うと熱くなる 「[icon]」が赤く点灯する	➡	故障ではありません。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置してください。	–
ディスク撮影	「[icon]」が赤く点滅する。	➡	本機が故障しています。サービスセンターにご相談ください。	–
	画面に映像が映らない。	➡	• 電源スイッチを「**カメラ**」、動画/静止画切換スイッチを「[icon]」にしてください。 • レンズカバーを開けてください。	35
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	➡	• 世界時計のエリアと日時を設定してください。 • 内蔵のリチウム電池を充電し、日付／時刻を設定し直してください。	30 170
	スタート/ストップボタンを押しても録画しない。	➡	• 電源スイッチを「**カメラ**」、動画/静止画切換スイッチを「[icon]」にしてください。 • ディスクを入れてください。 • ディスクに空き容量がありません（画面で「[icon] END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RW（VRモード）の場合は他の画像を消去してください。 • 本機が高温になっています。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし、本機を冷ましてから操作してください。	35 33 101 23
	撮影を中断してもディスク動作ランプが点灯している。	➡	撮影したシーンをディスクに書き込んでいます。	36
	スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	➡	スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに時間差が多少かかることがあります。故障ではありません。	–

	こんなときは	どうするの？	
ディスク撮影	撮影を始めても、すぐ止まってしまう。	• ディスクにゴミや汚れがあります。市販の眼鏡クリーナー（布製）などの柔らかい布で拭きとってください。改善されない場合は、新しいディスクに交換してください。 • 本機が高温になっています。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし、本機を冷ましてから操作してください。	169 23
	ピントが合わない。	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを合わせてください。 • ファインダーの視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整してください。 • レンズが汚れています。最初にブロアでレンズ表面のゴミ、ホコリを拭き除き、レンズを傷つけないように乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを取り除いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。	57 27 172
	音が歪んだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。故障ではありません。	–
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体（一部に高輝度な部分がある被写体）を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で、故障ではありません。	–
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整してください。	27
ディスク再生	再生ボタンを押しても再生しない。	• ディスクを入れてください。 • 電源スイッチを「**再生**」、動画/静止画切換スイッチを「 」にしてください。 • 他機で記録、編集したディスクは本機で再生できない場合があります。 • ディスクのラベル面を外側にして入れる。	33 41 – 33

	こんなときは	どうするの？	📖
ディスク再生	映像にノイズが出たり、音が途切れたりして、正しく再生されない。またディスクを正しく認識しない。	• ディスクにゴミや汚れ、傷があります。市販の眼鏡クリーナー（布製）などの柔らかい布で拭きとってください。 • 他機で記録や編集されたディスクは、本機で再生できない場合があります。	–
	シーンとシーンの間で一瞬止まる。	再生する機器によっては、各シーンの間で一瞬止まることがあります。	–
	プレイリストに追加できない。	ディスクに空き容量がありません（画面で「💿 END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RW（VRモード）の場合は他の画像を消去してください。	101 112
	分割できない。	他機でプロテクトされたディスクは編集や消去ができません。	–
	ディスクタイトルを入力できない。	• DVD-Rではファイナライズ後にディスクタイトルを入力できません。 • ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）には記録できません。ファイナライズを解除してください。 • 他機でディスクタイトルが作成されている場合は、本機では入力できない場合があります。 • ディスクプロテクトを解除してください。	– 123 –
	フォトムービーを作成できない。	• 静止画が記録されていません。 • ディスクに空き容量がありません（画面で「💿 END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RW（VRモード）の場合は他の画像を消去してください。	101 112
	編集やシーンを消去できない。	• ディスクプロテクトを解除してください。 • 他機でプロテクトされたディスクは編集や消去ができません。 • DVD-R/RW（VIDEOモード）の場合は消去できません。	105 – –
	ディスクは回っているが、テレビに映像が出ない。	• テレビのテレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにしてください。 • 対応していないディスクを再生またはダビング録画しようとしています。操作を中止してください。	124 33

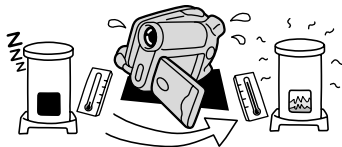
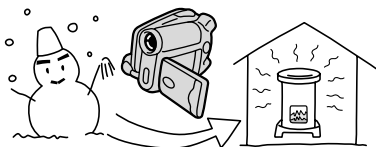
	こんなときは		どうするの？	📖
ディスク再生	映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	➡	スピーカーの音量が「切」になっています。メニューで「システム設定」➤「音量」を選び、十字ボタンで調整してください。	46
ディスク再生	リモコンのボタンが使用できない。	➡	本体の十字ボタンが押されています。本体が傾いている場合は起こしてください。	–
他機	他機でディスクが認識されない。 再生できない、画像が乱れる。	➡	• 市販の眼鏡クリーナー（布製）でディスクの汚れを拭き取ってください。 • ディスクをファイナライズしてください。 • VRモードで記録した場合、再生できない機器があります。他機の使用説明書で互換を確認してください。	– 120 –
他機	他機でディスクに追加記録や編集ができない。	➡	本機で記録したディスクには、他機での追加記録や編集ができない場合があります。	–
他機	パソコンからDVD-Rへの書き込み中にエラーが出る。	➡	本機が高温になっています。パソコンから本機をはずし、ディスクを取り出してください。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし本機を冷ましてから、新しいディスクに書き込みを行ってください。	23
カード	カードが入らない。	➡	カードの向きを確認して、正しい向きでカードを入れてください。	32
カード	カードに記録できない。	➡	• カードの容量がいっぱいです。不要な静止画を消去してください。 • カードが初期化されていません。カードを初期化してください。 • 画像番号が最大になっていて、ファイル名が作成できません。メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れてください。	112 119 96
カード	カードが再生できない。	➡	• 電源スイッチを「**再生**」、動画/静止画切換スイッチを「📷」にしてください。 • カードを入れてください。 • 「静止画メディア選択」を「▭」にしてください。	43 32 43
カード	静止画を消去できない。	➡	画像またはディスクのプロテクト設定を解除してください。	105 117

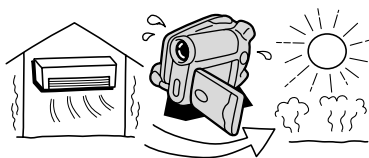
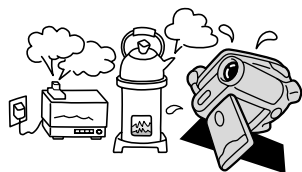
	こんなときは		どうするの？	📖
カード	「□」が赤く点滅する。	➡	カードエラーです。電源を切り、カードを出し入れしてください。それでも点滅が続くときは、カードを初期化してください。	119
印刷	本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない。	➡	本機の電源スイッチを「**再生**」、動画/静止画切換スイッチを「📷」にして、接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直してください。	–

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機を結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

・ 寒い部屋を急に暖房したとき

・ 湿度の高い部屋の中

・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露を防ぐためには

温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にディスクを取り出し、本機をビニール袋に入れて密閉してから移動します。本機が移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

お知らせ表示（約4秒間表示が出ます）

メッセージ	どんな意味？	📖
エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください。	30
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください。	23
高温のため記録できません 高温のためディスクは取り出せません	本機が高温になっています。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし、本機を冷ましてから操作してください。	23
記録できません	• ディスクに異常があるため、記録できません。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。	ー 158
シーン数がいっぱいです	記録可能な画像数を超えました。新しいディスクに交換するか、DVD-RW（VRモード）の場合は不要な画像を消去してください。	101
再生できません	• DVD-R/RW以外のディスクや、汚れがついているディスクは再生できません。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。	ー
編集できません	• ディスクに画像が記録されていません。またはディスクに画像が記録されていても、データが破損していて編集できない場合があります。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。	ー 158
ファイナライズ済みのディスクです記録できません	ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）には記録できません。ファイナライズを解除してください。	123

お知らせ表示（約4秒間表示が出ます）

メッセージ	どんな意味？	📖
ファイナライズを解除してください	ファイナライズ済みのDVD-RW（VIDEOモード）には追加記録したり、カードの静止画をフォトムービーとして記録できません。ファイナライズを解除してください。	123
ディスクがプロテクトされています	プロテクトされているディスクには記録や編集できません。プロテクトを解除してください。	105
ディスクエラーです	• ディスクを認識できません。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。 • 本機が高温になっている場合があります。コンパクトパワーアダプターとバッテリーパックをはずし、本機を冷ましてから使用してください。	– 158 23
アクセスエラーです	• ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生しました。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。	– 158
ディスクカバーがあいています	ディスクカバーを閉じてください。	–
ディスクがありません	• ディスクを入れてください。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。 • テレビ方式が異なるディスクです。本機に対応したディスクをお使いください。	33 158 33
ディスク認識中です	ディスクを読み込んでいます。	–
データを修復できませんでした データを修復できませんでした 初期化してください	• 壊れたデータを修復できませんでした。ディスクを初期化してください。 • 結露したときにも、このメッセージが出る場合があります。完全に乾いてから使用してください。初期化はしないでください。	–

お知らせ表示（約4秒間表示が出ます）

メッセージ	どんな意味？	📖
ディスクを取り出してください	ディスク保護のため、本機が動作を中止しました。ディスクを取り出して最初から操作し直してください。	–
ディスクがいっぱいです	ディスクに空き容量がありません（画面で「💿 END」が点灯）。新しいディスクを入れるか、DVD-RWの（VRモード）場合は他の画像を消去してください。	101 112
カードがありません	カードが本機に入っていません。	32
画像がありません	カードやディスクに再生する画像がありません。	–
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。 一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。 が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。	–
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。	32 112
ファイル名が作成できません	フォルダー番号や画像番号が最大になりました。	96
この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。	–
送信指定エラー	送信指定の設定可能な画像の枚数（998枚）を超えました。	138
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	USBケーブルを抜いて、カードまたはディスクの静止画が1800枚以下になるまで静止画を消去してから、USBケーブルを接続し直してください。DVD-R/RW（VIDEOモード）の静止画は消去できません。パソコンの場合、OSの設定によっては、パソコンのモニターに画面が出ることがあります。このような場合は、画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直してください。	112

メッセージが出たら？ーつづき

本機をPictBridge対応プリンターにつないだときに出るお知らせ表示の対処方法については、プリンターの説明書をあわせてご覧ください。

キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて

❍ 次の場合は、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
 ・プリンターのエラーランプが点滅しているとき。
 ・操作パネルや接続したテレビにエラーが表示されているとき。

❍ 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）またはご購入になった販売店にご相談ください。

	メッセージ	どんな意味？
プリンター接続時	ペーパーエラー	ペーパーに異常があります。 印刷できないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられているか、または指定されたペーパーで印刷できないインクが取り付けられています。 また排紙トレイが閉じているときは、開けてください。
	ペーパーがありません	プリンターにペーパーが正しく入っていない、またはペーパーがありません。 カセットに対応しているプリンターの場合、給紙切り替えボタンでペーパーがセットされている給紙先を指定してください。
	ペーパーが詰まりました	印刷中にペーパーが詰まりました。 ［中止］を選び印刷を中止します。ペーパーを取り除いた後、ペーパーをセットし、プリンターのリセットボタンを押してください。
	インクエラー	インクに異常があります。
	インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがありません。
	インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいています。［続行］を選ぶと、印刷を再開します。
	廃インクタンクが満杯です	［続行］を選ぶと印刷を再開しますが、お早めにご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、廃インクタンク（廃インク吸収体）の交換を依頼してください。
	ファイルエラー	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。

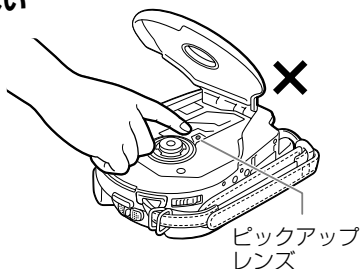
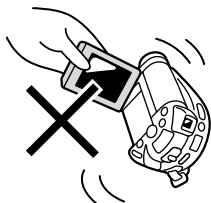
メッセージ		どんな意味？
プリンター接続時	プリントできない画像です	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
	プリントできない画像が＊枚ありました	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷しようとしました。
	プリント指定が必要です	カード内にプリント指定をしている静止画がありません。
	プリント指定エラー	プリント指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えました（148)。
	トリミングできない画像です	本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがあります。
	トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更しました。
	プリンタートラブル発生	[中止]を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつないでください。プリンターの状態を確認してください。それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
	プリントエラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。プリンターの状態を確認してください。
	ハードウェアエラー	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 プリンターの状態を確認してください。

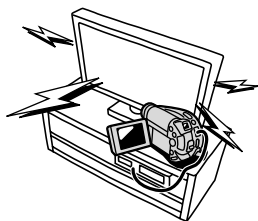
メッセージが出たら？ーつづき

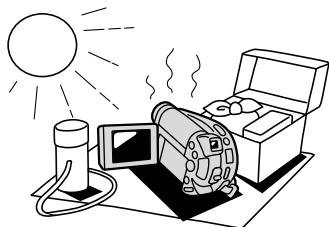
	メッセージ		どんな意味？
プリンター接続時	通信エラー	➡	通信中にエラーが発生しました。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつないでください。⎙〜ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとしました。画像の枚数を減らしてください。
	設定を確認してください	➡	⎙〜ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっています。
	サイズを選びなおしてください	➡	ビデオカメラとプリンターでペーパーサイズの設定が異なっています。
	プリンターは使用中です	➡	使用中です。プリンターの状態を確認してください。
	紙間レバー位置が不正です	➡	紙間レバー位置を正しい位置に直してください。
	プリンターカバーが開いてます	➡	プリンターのカバーを閉じてください。
	プリントヘッド未装着	➡	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良です。

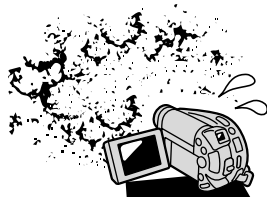
取り扱い上のご注意

ビデオカメラについて

本機のピックアップレンズに触れない

液晶画面やディスクカバーをつかんで、本機を持ち上げない
液晶画面は、正しい位置に戻してから閉じる

強い磁気の発生する場所で使わない

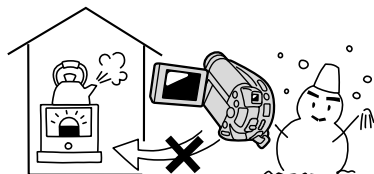
テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話、テレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や再生、操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やディスクカバー内部に入ると故障の原因となることがあります。ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズカバーを閉じてください。

水や泥、塩分に注意する

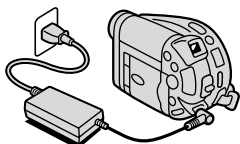
本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やディスクカバー内部に入ると故障の原因となることがあります。

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ移動する場合は、「結露について」（🕮 158）をご覧ください。

バッテリーパックについて

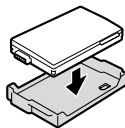
付属のバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、本機の動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、本機の⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート防止用端子カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける(図A)

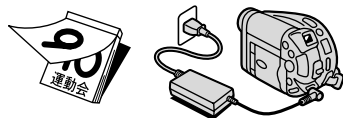
キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

（図A)

（図B)

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間本機を使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

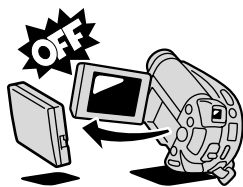
常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

こまめに電源を切って使う

・撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。

・バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、本機からバッテリーパックを取りはずす

本機にバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間本機を使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

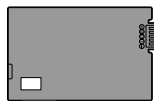
・湿度の低い室温で保管してください。

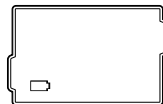
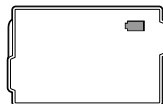
・1年に1回程度、充電完了まで充電してから、本機に取り付け、画面に「バッテリーを取り替えてください」が出るまでバッテリーパックを使ってください。複数のバッテリーパックをお持ちの場合は、同時期に行ってください。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーを白色の部分が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

端子カバーの取り付け後

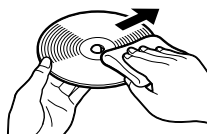
充電した場合

充電していない場合

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記の「キヤノン／キヤノン販売」のホームページ上で確認できます。
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
  - 「製品、リチウム電池をご購入いただいた販売店」
  - 「有限責任中間法人　JBRC」および「キヤノン／キヤノン販売」*

  *有限責任中間法人　JBRC　ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
  キヤノン／キヤノン販売　ホームページ
  http://cweb.canon.jp/ecology/recycle5.html

Li-ion

ディスクについて

ディスクにホコリや汚れがつかないようにする

汚れた場合は、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きとってください。ベンジンなどは、ディスクを痛めることがあるので、使わないでください。

ぬらしたり、曲げたり、傷つけたり、強い衝撃を与えない

表面にラベルなどの粘着性のあるものを貼らない

回転が不安定になり、故障の原因となります。

保護のため、ケースに入れて保管する

文字などは印刷面に、ボールペンなどの先の硬いものは避け油性フェルトペンで記入する

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。

直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所に置かない

DVD-R/RW（VIDEOモード）の場合は、必ずファイナライズしてからDVDプレーヤーなどの機器に入れる

記録データが破損する恐れがあります。

カードについて

カードに記録した静止画などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面が結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

内蔵の充電式リチウム電池について

本機は、充電式リチウム電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。内蔵のリチウム電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、内蔵のリチウム電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターにつないで、24時間放置してください（電源スイッチは「切」）。

ビデオカメラ廃棄時の内蔵のリチウム電池の取りはずしかた

ビデオカメラを廃棄するときは、内蔵のリチウム電池を取りはずしてください。
DC20の場合は、本体内部に高圧発生部がありますので、電源を取りはずしてから１ヵ月放置してから作業をして下さい。またDC20の場合、感電する危険がありますので、手順中の注意をお読みください。
DC20のイラストを使って説明しています。

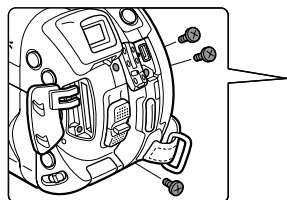
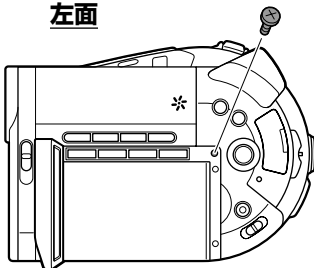
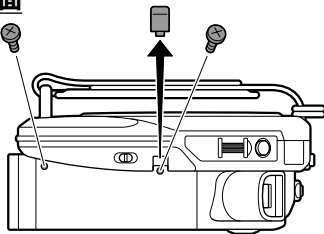
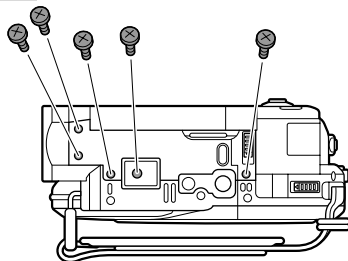
- ビデオカメラを廃棄するために内蔵のリチウム電池を取り出すとき以外は、カバーをはずさないでください。
- 内蔵のリチウム電池を取り出すときは、本機から電源（コンパクトパワーアダプターやバッテリーパック）を取りはずしてください。
- 取り出したリチウム電池の廃棄については、168ページをご参照ください。

❶ ドライバーでねじをはずす

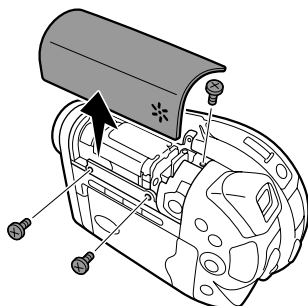
- カバーはピンセットではずします。

左面

上面

底面

❷ ① カバーをはずす

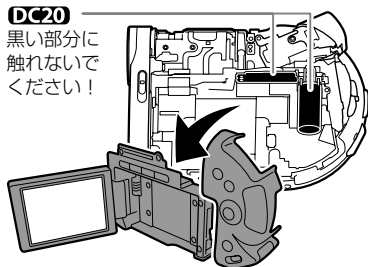
② カバーの下にあるねじをはずす

左側

❸ ※ DC20 黒い部分に絶対に触れないでください！感電する恐れがあり、大変危険です。

① 液晶画面側、十字ボタン側の順で、本体からカバーをはずす

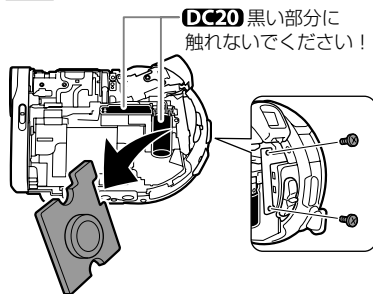
- ケーブルはペンチで引っ張るか、はさみで切ります。

② ねじをはずす

左側

❹ ※ DC20 黒い部分に絶対に触れないでください！感電する恐れがあり、大変危険です。

① ビニールテープを巻いたペンチでリチウム電池が付いている基板をつかみ、はずす

② ビニールテープを巻いたペンチでリチウム電池をつかみ、基板からはずす

左側

コイン型リチウム電池CR2025について

プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れる

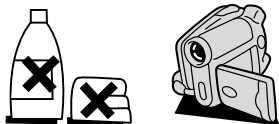
接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理する

（地域によって異なります）

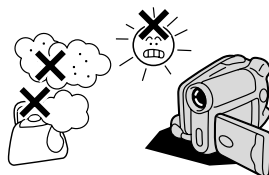
日常のお手入れ

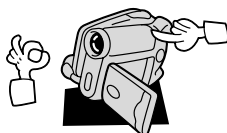
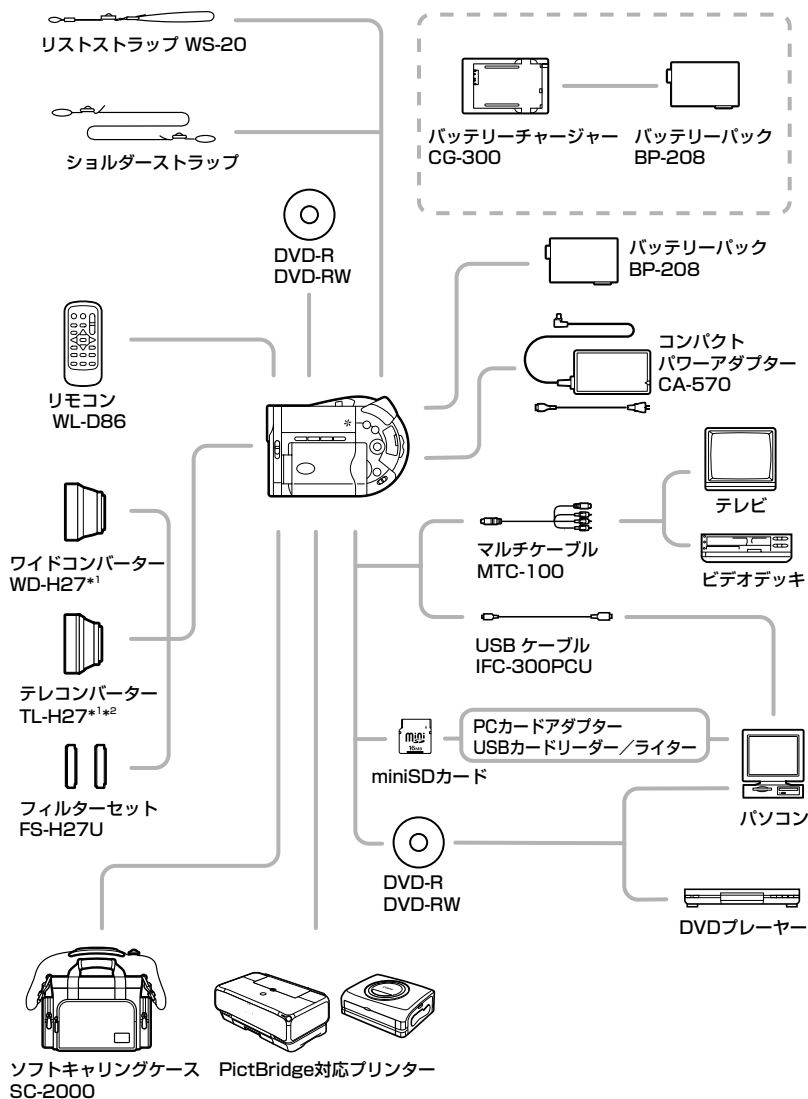
大切な本機をより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ
本機の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

ピックアップレンズが汚れたときは
スプレー缶タイプではなくエアータイプのブロアーで、汚れを吹き飛ばしてください。故障の原因となりますので、直接触れてのクリーニングは絶対にしないでください。

レンズはいつもきれいに
レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、レンズを傷つけないように市販の眼鏡クリーナー（布製）で軽く拭いて汚れを取り除いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。

ファインダーが汚れたときは
ブロアーでファインダー表面のゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

長期間使わないときは
本機を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

各部のチェック
長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

液晶画面について
・ 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・ 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

キヤノンビデオシステム

キヤノンビデオシステムーつづき

*1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、ミニビデオライトやフラッシュを使用時に影が出ることがあります。

*2 テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。ズームのWの端：約3cm、Tの端：約3m

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれます。

テレビでの再生

録画したディスクを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による

- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米

国名	プラグ
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

国名	プラグ
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

国名	プラグ
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

国名	プラグ
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

国名	プラグ
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

国名	プラグ
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

国名	プラグ
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

世界時計の都市と代表国

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます。30ページの手順4-②で、エリア（都市名）を選んでください。エリアの右に ☀ が付くと、サマータイムになります。

エリアと日本との時差

エリア	時差	エリア	時差	エリア	時差
ロンドン	−9	ホンコン	−1	ロサンゼルス	−17
パリ	−8	トウキョウ	0	デンバー	−16
カイロ	−7	シドニー	+1	シカゴ	−15
モスクワ	−6	ソロモン	+2	ニューヨーク	−14
ドバイ	−5	ウェリントン	+3	カラカス	−13
カラチ	−4	サモア	−20	リオ	−12
ダッカ	−3	ホノルル	−19	フェルナンド	−11
バンコク	−2	アンカレジ	−18	アゾレス	−10

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店にご相談ください。尚、当社修理サービスご相談窓口、または、お買上げ店にご持参いただく際の諸費用は、お客様にて御負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、一部御負担いただく場合があります。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるディスク、カードを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはキヤノンサービスセンター、またはご購入になった販売店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

DC20/DC10

システム

ディスク録画	映像： DVD-VIDEO（VIDEOモード）：8cmDVD-R/RW DVD-VR（VRモード）：8cmDVD-RW 映像圧縮方法：MPEG2 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 静止画：Exif Ver 2.2準拠、圧縮方法JPEG
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ディスク	DVD R/RW のついた8cmDVD-Rまたは8cmDVD-RW
録画/再生時間	XP：約20分、SP：約30分、LP：約60分 （1.4G片面ディスク）
撮像素子	DC20 1/3.9型CCD、総画素数220万画素 有効画素　動画：約123万画素　静止画：約200万画素 DC10 1/4型CCD、総画素数133万画素 有効画素　動画：約69万画素　静止画：約123万画素
液晶画面	2.5型TFTカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー	0.3型　TFTカラー液晶（約12.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.05－40.5mm　F=1.8－2.8　電動10倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 DC20 ディスク： 4：3撮影時：48.7-487mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「入」）：43.3-433mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「切」）：41.6-416mm カード：38.1-381mm DC10 ディスク： 4：3撮影時：52.2-522mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「入」）：46.1-461mm ワイドTV撮影時（手ぶれ補正「切」）：42.6-426mm カード：38.9-389mm
レンズ構成	9群11枚
フィルター径	27mm
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	DC20 1.3ルクス DC10 0.5ルクス （ナイト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式
記録カード	miniSDカード*
カード記録サイズ	静止画： DC20 1632×1224、1280×960、640×480 DC10 1280×960、640×480
カード記録規格	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

* 本機では、256MBまでのminiSDカードの動作を確認しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。

DC20/DC10は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
DC20/DC10は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声出力端子	10ピンマルチコネクター（出力のみ） 映像　映像信号：1Vp-p/75Ω S-映像　輝度信号：1Vp-p/75Ω 色信号：0.286Vp-p/75Ω 音声　出力時：-10dBv（47kΩ負荷時/3ｋΩ以下）
USB端子	mini-B

電源その他

電源電圧	DC7.4V
消費電力	ファインダー使用時：DC20 約5.3W、DC10 約4.6W （録画中、AF合焦時、SPモード時） 液晶画面使用時：DC20 約5.4W、DC10 約4.7W （録画中、AF合焦時、明るさ標準、SPモード時）
動作温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	48×86×122mm（最大突起部を含まず）
撮影時総質量	約465g （バッテリーパックBP-208、DVD-R、miniSDカード16MB含む）
本体質量	約415g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-208

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	850mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約39×8×63mm
質量	約40g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

そのほか

修理サービスご相談窓口

故障などについてご相談になるときは、下記の項目をお知らせください。

型名：DC20/DC10

故障の状態：できるだけ詳しく

ご購入年月日：

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札　幌	〒060-8522	札幌市北区北七条西1ー1ー2　SE山京ビル1F	011(728)0665
仙　台	〒980-8560	仙台市青葉区国分町3ー6ー1　仙台パークビル1F	022(217)3210
大　宮	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1ー10ー17　シーノ大宮サウスウイング6F	048(649)1450
銀　座	〒104-0061	東京都中央区銀座3ー9ー7　トレランス銀座ビル2F	03(3542)1815
新　宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2ー1ー1　新宿三井ビル1F	03(3348)4725
横　浜	〒220-0004	横浜市西区北幸2ー6ー26　HI横浜ビル2F	045(312)0211
名古屋	〒461-8511	名古屋市東区東桜2ー2ー1　高岳パークビル1F	052(939)1830
梅　田	〒530-8260	大阪市北区梅田3ー3ー10　梅田ダイビルB1	06(4795)9100
広　島	〒730-0051	広島市中区大手町3ー7ー5　広島パークビル1F	082(240)6712
高　松	〒760-0027	高松市紺屋町4ー10　鹿島紺屋町ビル1F	087(823)4681
福　岡	〒812-0017	福岡市博多区美野島1ー2ー1　キヤノン販売福岡ビル1F	092(411)4173

東日本修理センター

〒261-8711　千葉市美浜区中瀬1ー7ー2　キヤノン販売幕張ビル1F　043(211)9032

西日本修理センター

〒530-0005　大阪市北区中之島6－1－21　06(6459)2570

● 休業のご案内

銀座、新宿、梅田（日曜日、祝祭日）

その他（土・日曜日、祝祭日）

●営業時間のご案内

銀座：10:00～19:00

新宿、梅田：10:00 ～ 18:00

その他：9:00 ～ 17:30

● 所在地、電話番号が変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。

製品のつかいかたがわからないときは

DC20 / DC10

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00／土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

Roxio MyDVD for Canon

ソニック・ソルーションズ サポートセンター

http://www.sonicjapan.co.jp/support/

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/dv

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

■ 保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■ 本書の記載内容は2005年9月1日現在です

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011東京都港区港南2-16-6

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-217